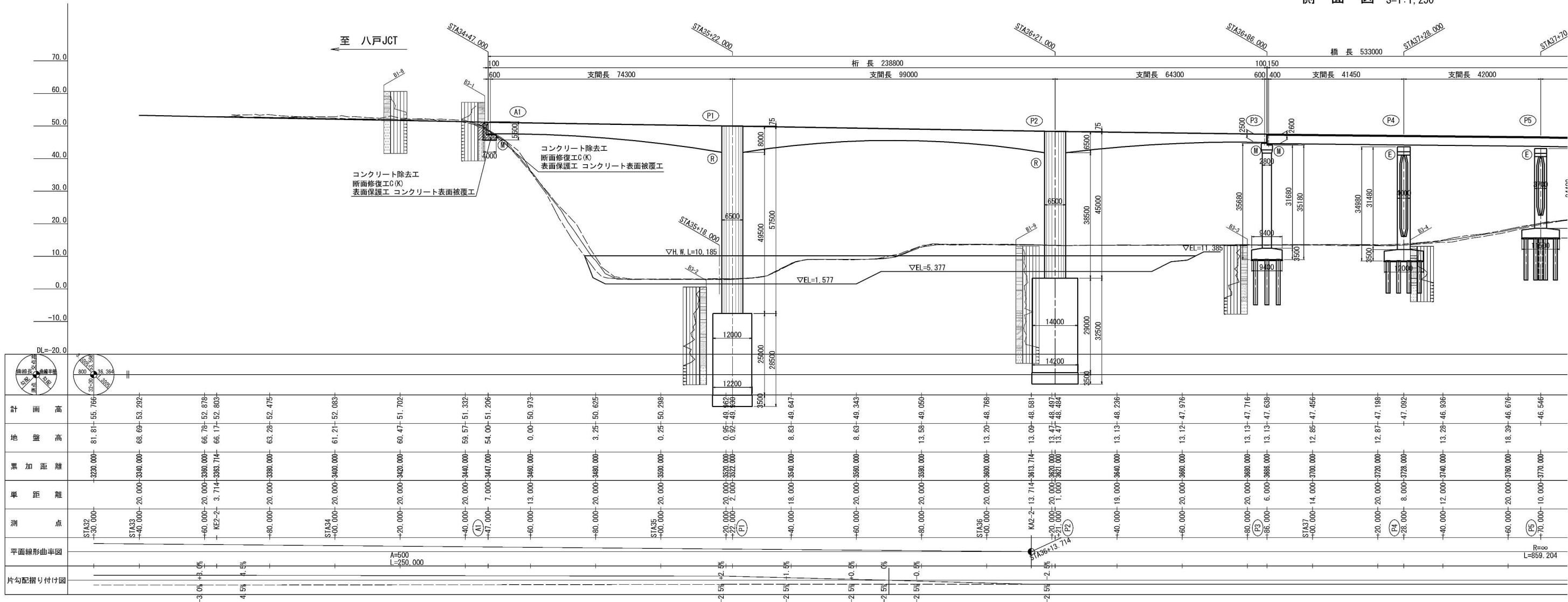
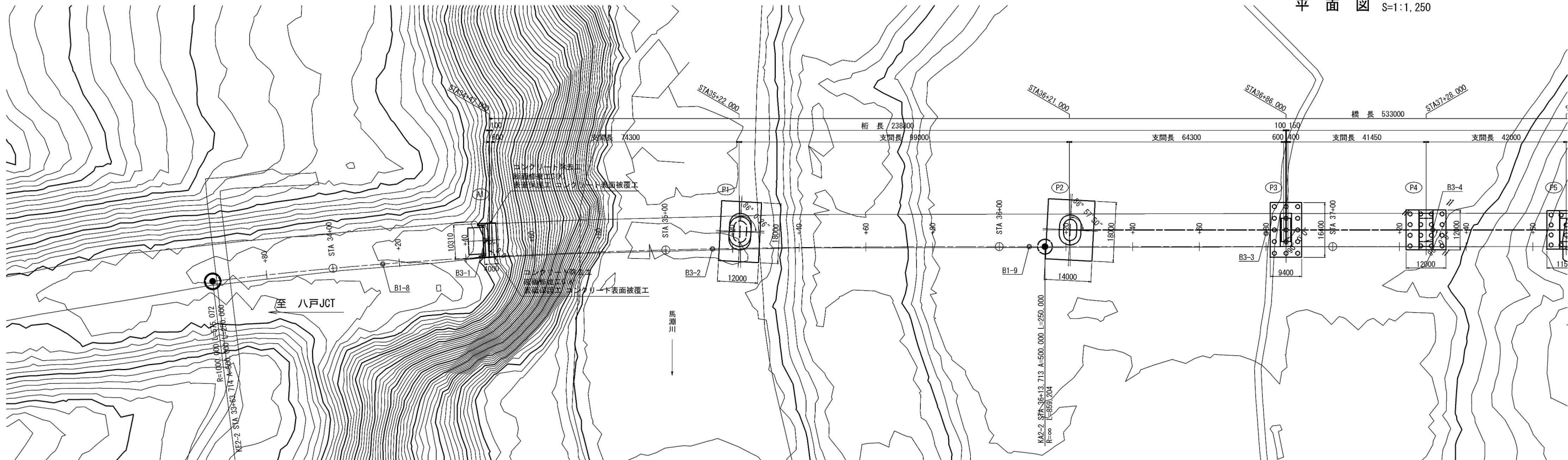


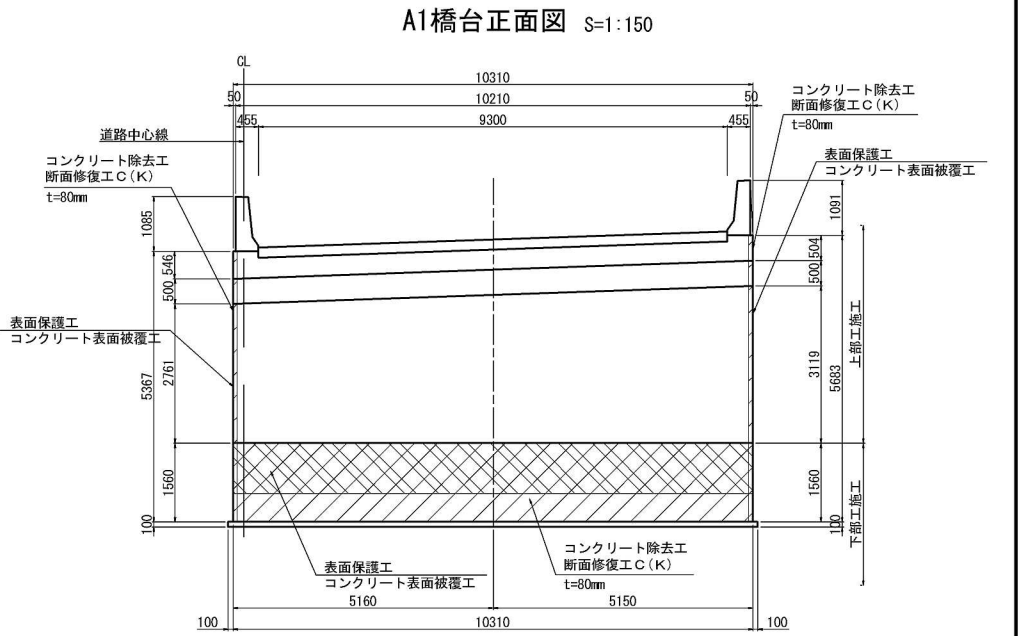
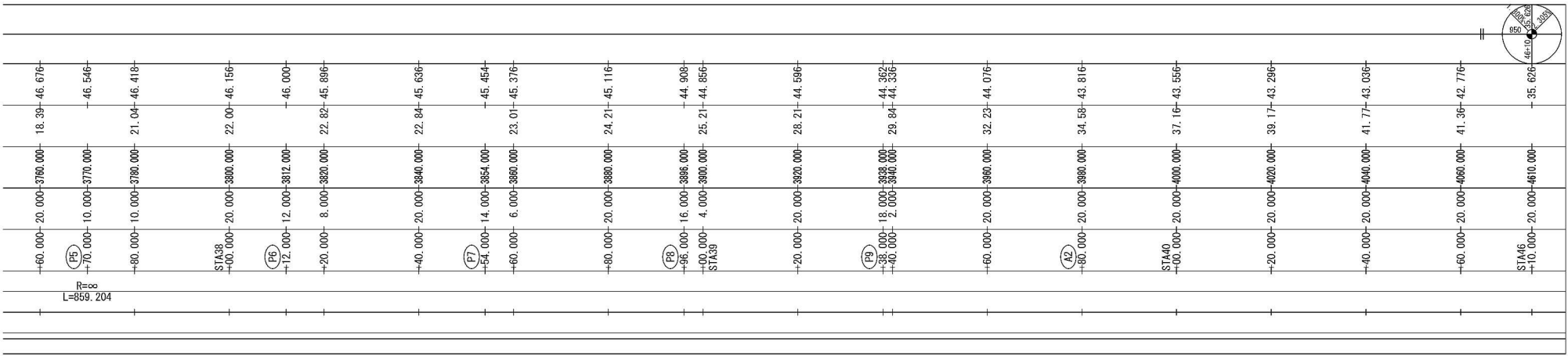
櫛引馬淵川橋

側面図 S=1:1,250



平面図 S=1:1,250

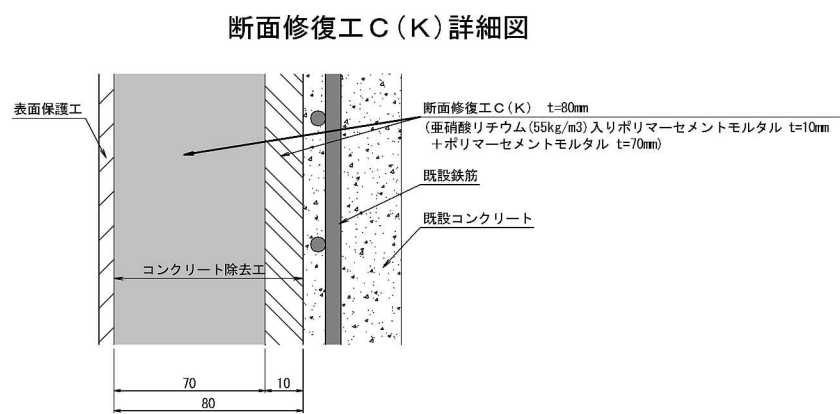
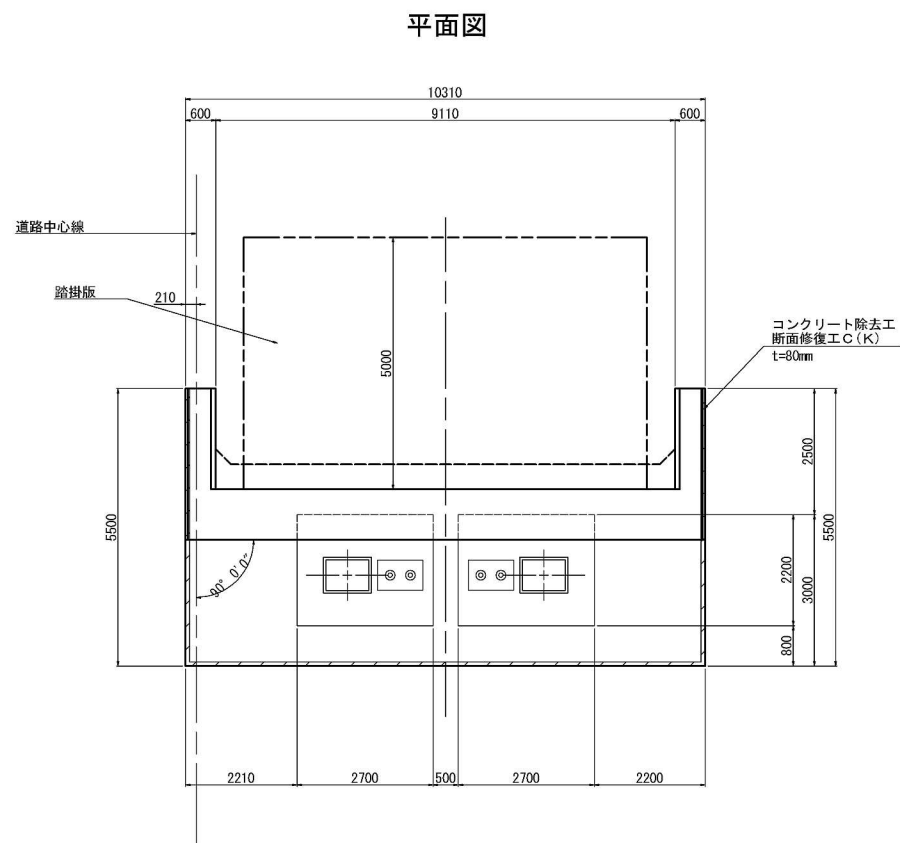
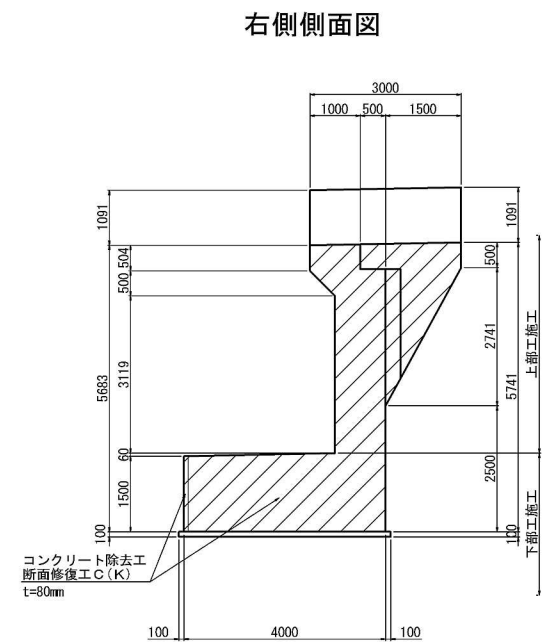
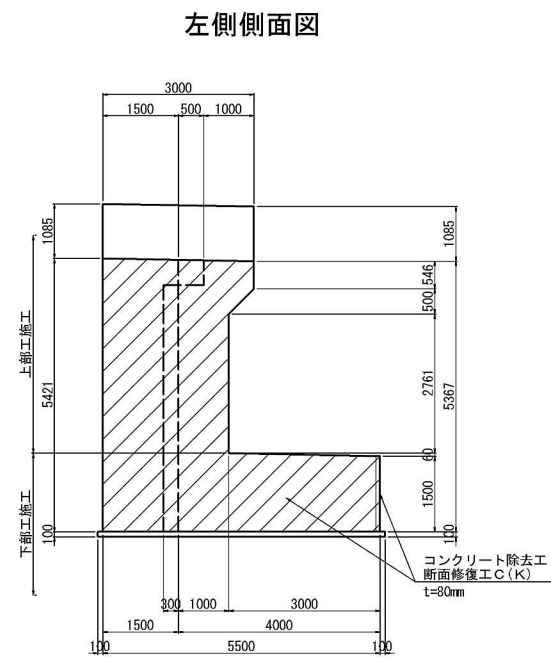
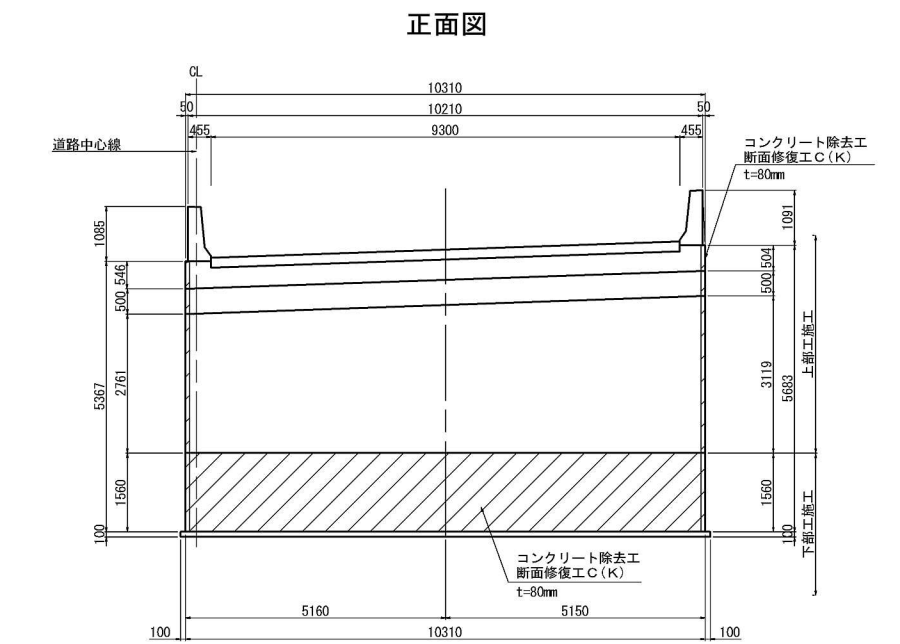




補修一覽表

八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	橋引馬淵川橋 補修一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

櫛引馬淵川橋 断面修復工図 S=1:150
A1橋台 断面修復工C(K)



数量表

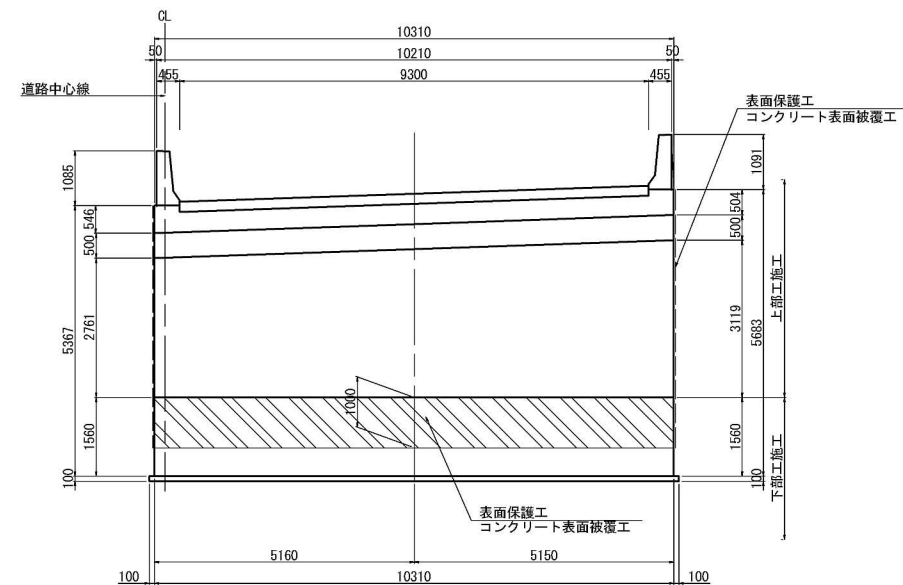
項 目	数量 (L)	備 考
断面修復工C(K)	A1橋台 3,840	

項 目	対策工面積 (m2)	コンクリート除去深さ (m)	コンクリート除去体積 (m3)
コンクリート除去工	A1橋台 48.0	0.080	3.840

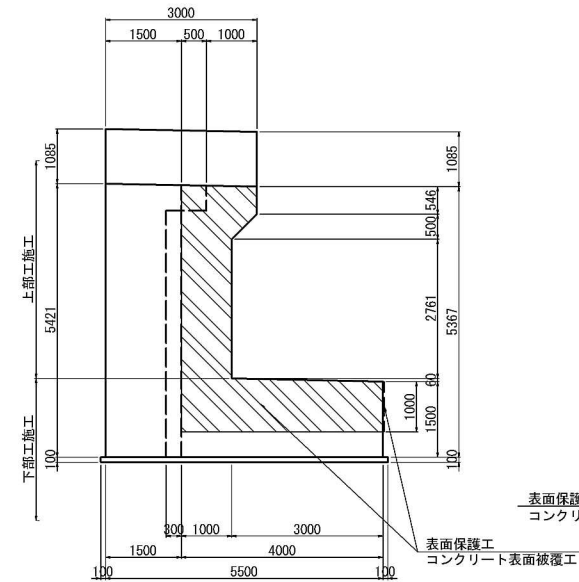
注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・ハンリ深さは、塩化物イオンの移動予測をモデル化予測に基づき決定している。
・亜硝酸入りポリマーセメント (t=10mm) 塗布後、ポリマーセメントを打設する。

八 戸 自 動 車 道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 断面修復工図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

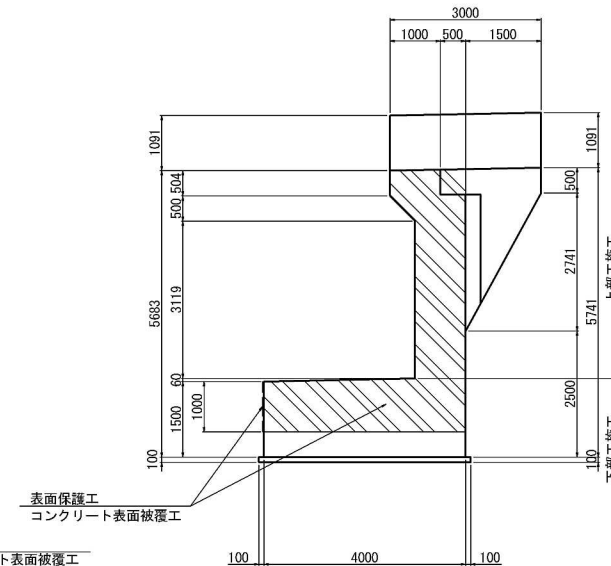
正面図



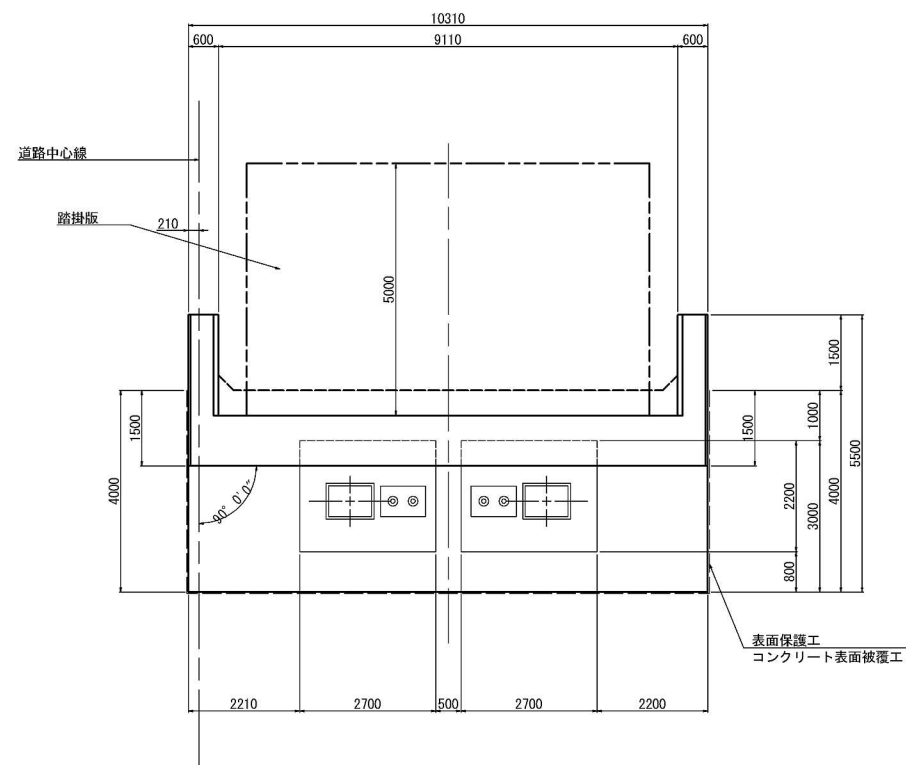
左側側面図



右側側面図



平面图



表面保護工数量表

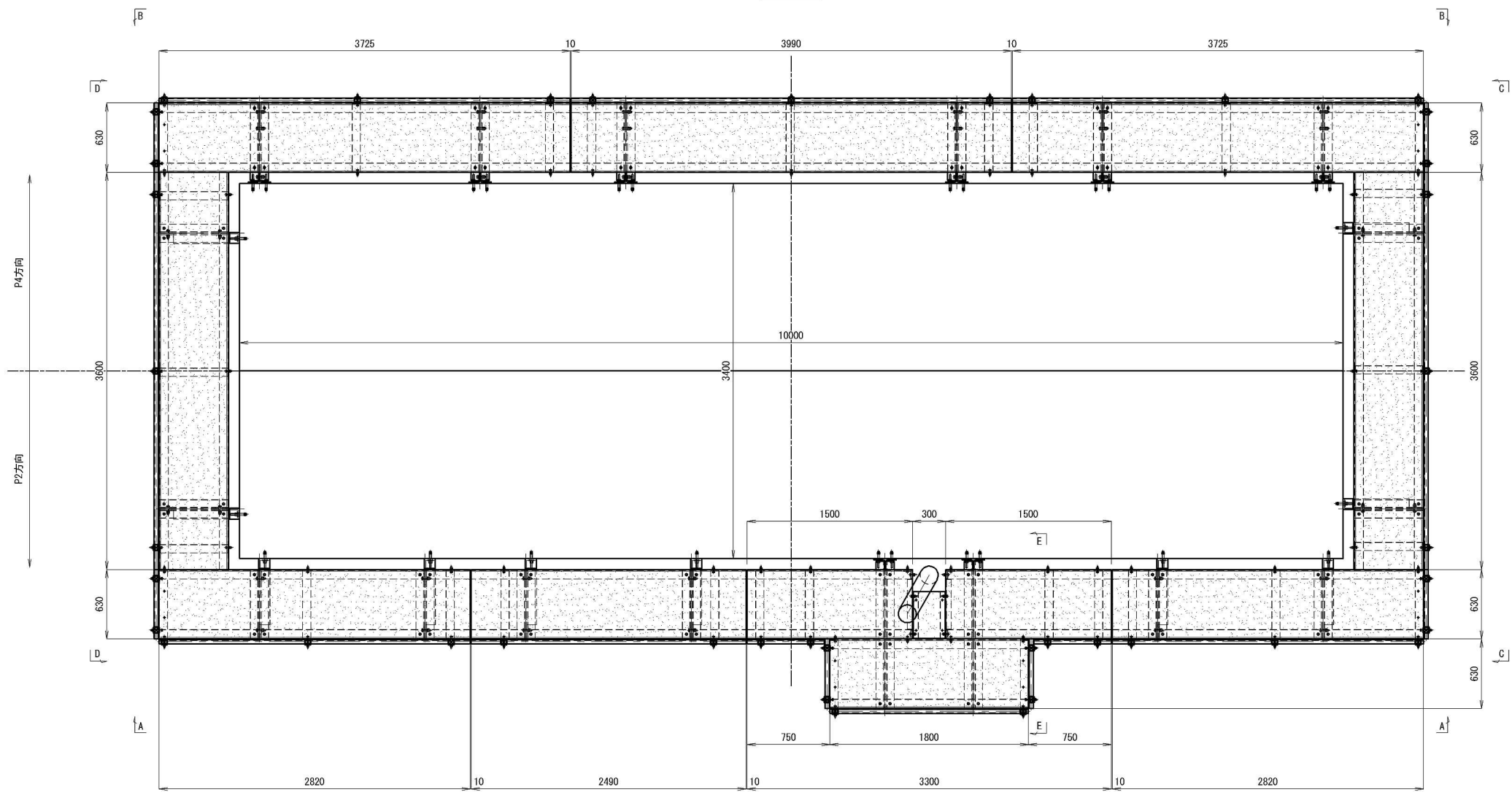
項 目		面 積 (m2)
コンクリート表面被覆工	A1橋台	27.4

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。

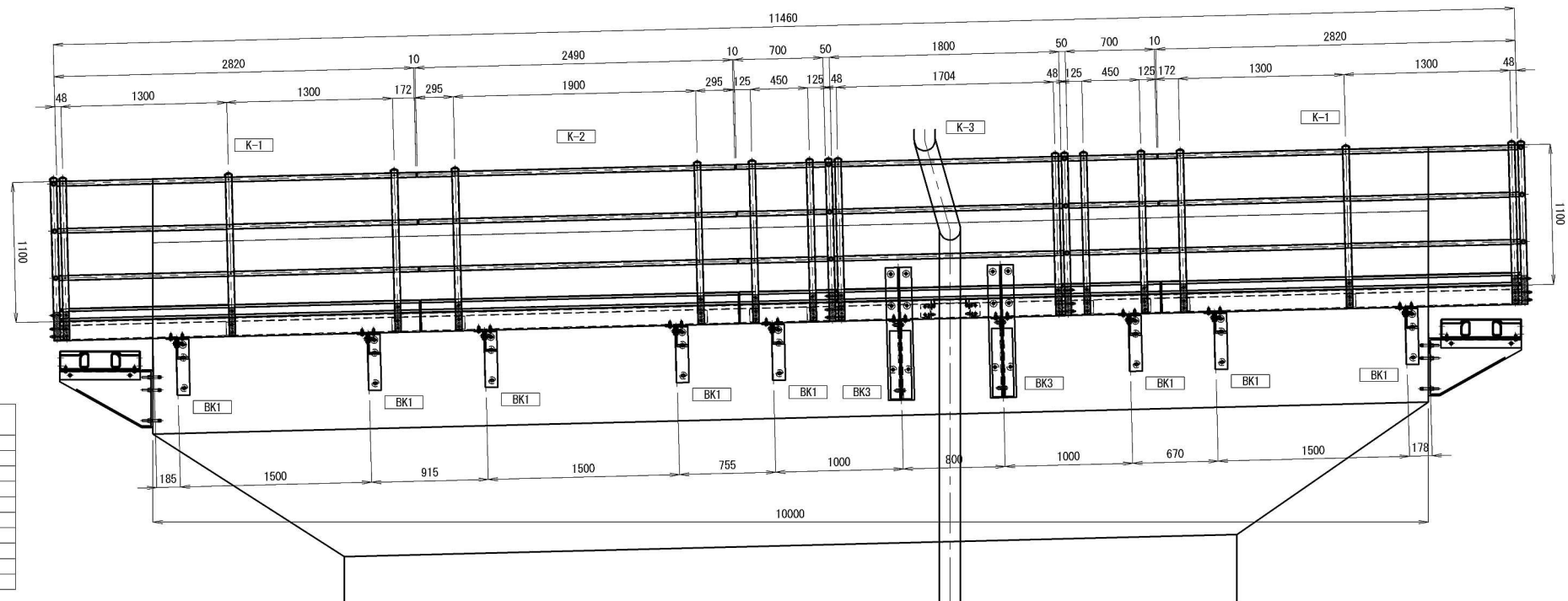
八 戸 自 動 車 道 樺引馬淵川樺引震補強工事			
図面の種類	樺引馬淵川橋 表面保護工図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエントラルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

P3橋脚 検査路C(K)(その1)

平面図



A-A 矢視図



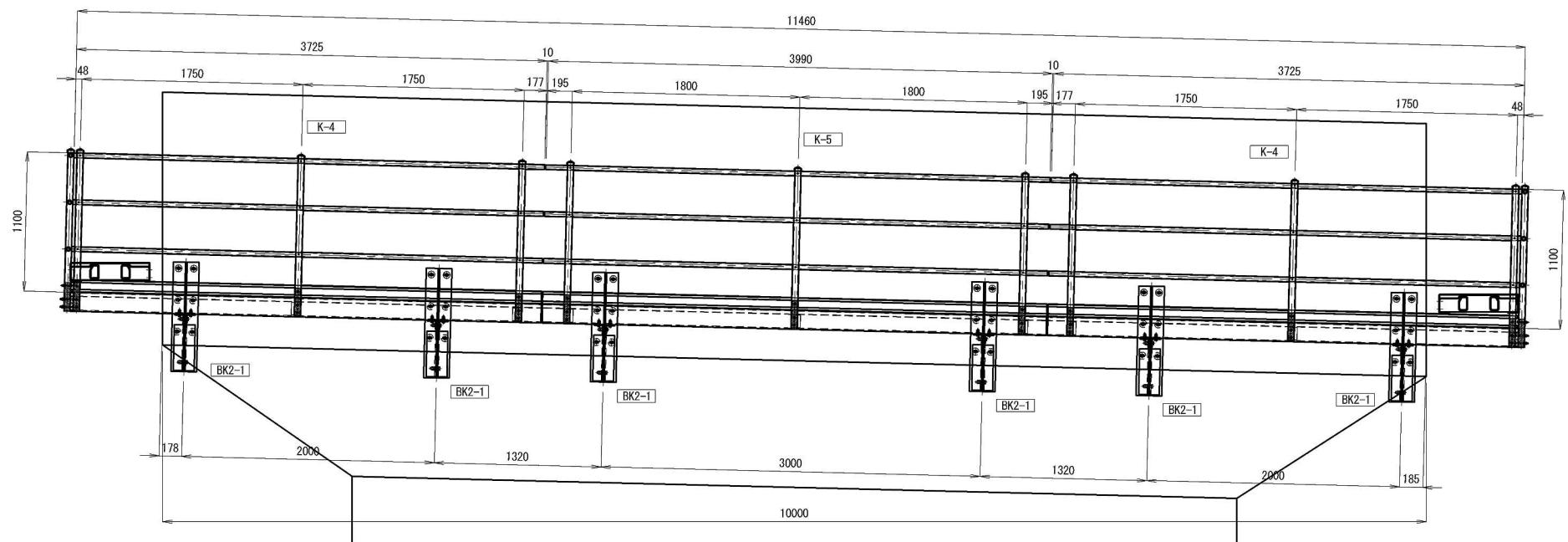
P3橋脚 検査路C(K)数量表

タイプ	ユニット数	ユニット当たりの重量 [kg]	総重量 [kg]
BK1	12	11.79	141.48
BK2-1	6	18.24	109.44
BK3	2	24.87	49.74
K-1	2	86.88	173.76
K-2	1	64.13	64.13
K-3	1	159.59	159.59
K-4	2	105.13	210.26
K-5	1	101.33	101.33
K-6	2	93.47	186.94
合計			1196.67

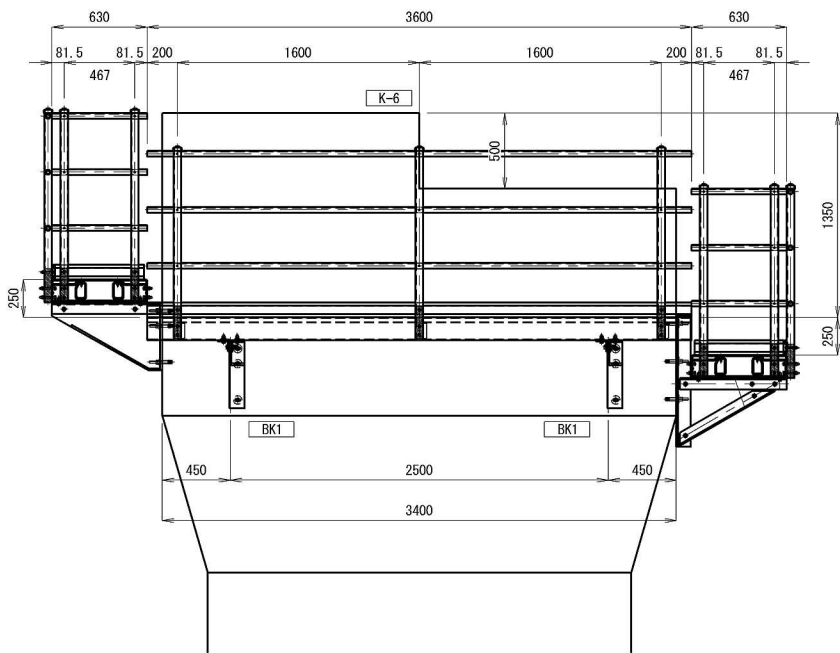
八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

P3橋脚 検査路C(K)(その2)

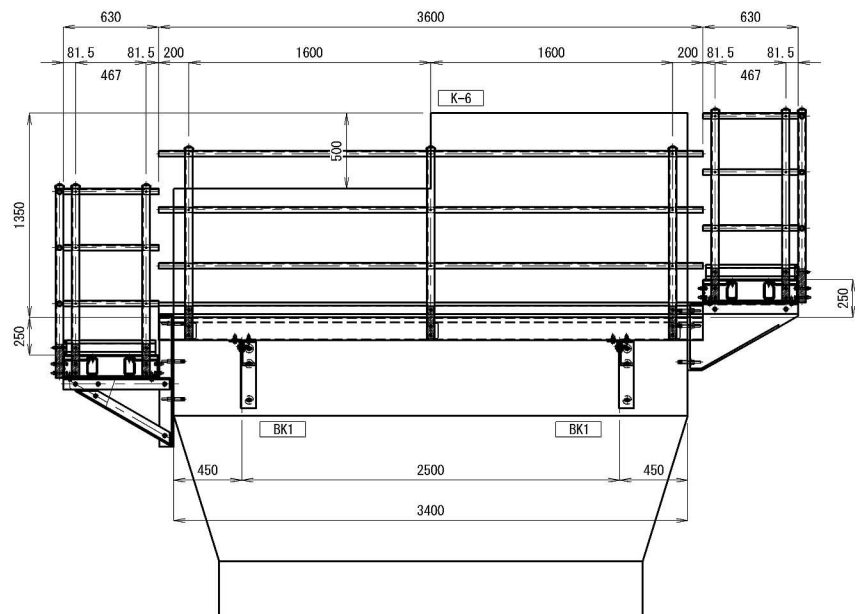
B-B 矢視図



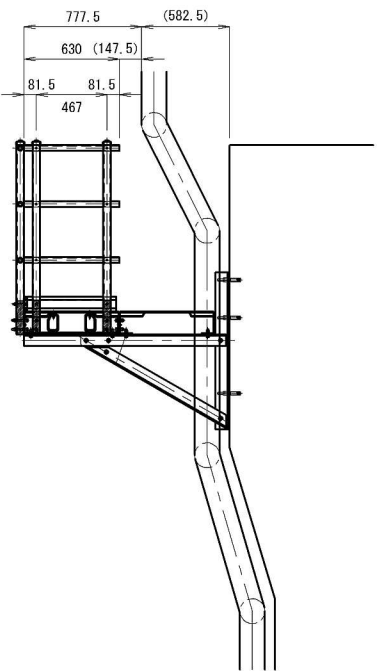
C-C 矢視図



D-D 矢視図

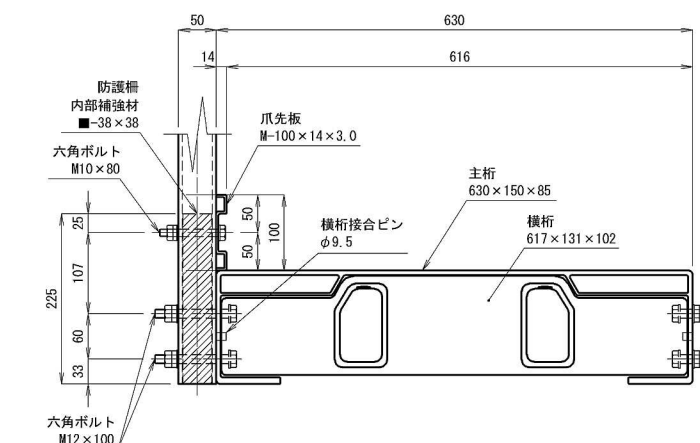


E-E 矢視図

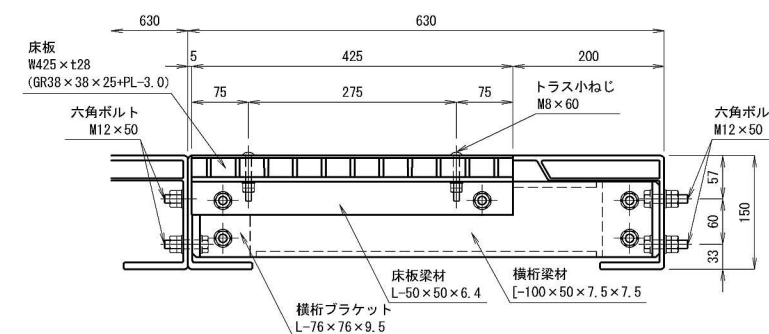


八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

歩廊標準断面詳細図 S = 1:10



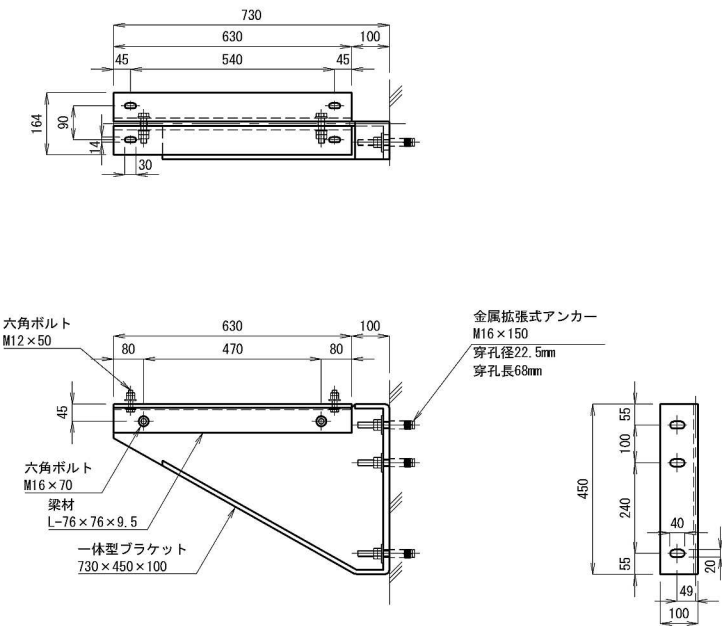
1-1 矢視図 $S = 1:10$



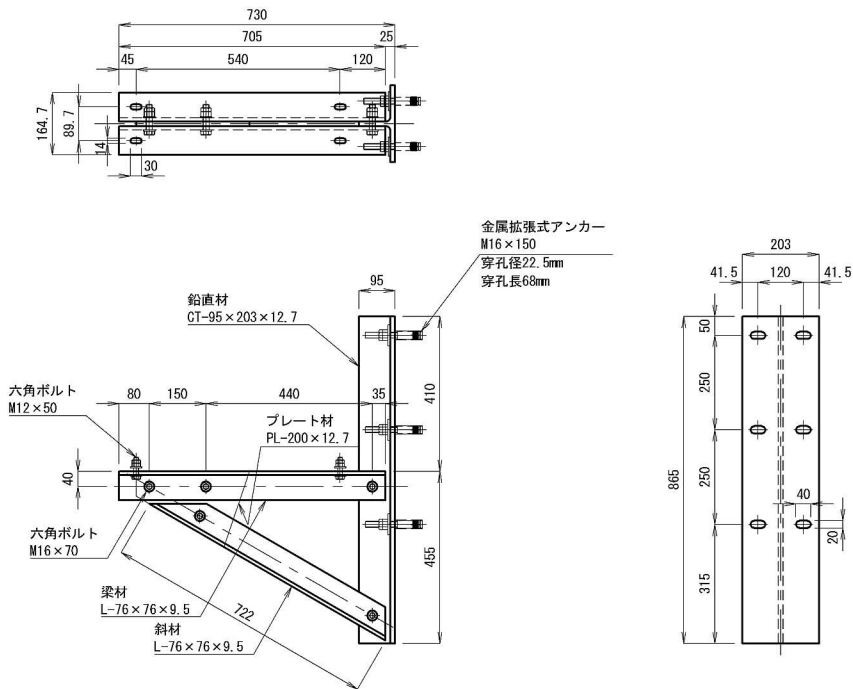
Technical drawing of a cross-section of a concrete slab with reinforcement. The drawing shows a central section of 290 units width, flanked by 1500 units on each side. Reinforcement includes top bars (25.5 units from center), bottom bars (25.5 units from center), and vertical bars (5 units from center). The slab thickness is 59 units. The drawing is labeled "六角ボルト M12 x 50" (Hex Bolt M12 x 50) and "239".

八 戸 自 動 車 道 柳引馬淵川横断管補強工事			
柳引馬淵川橋			
図面の種類	下部工検査図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

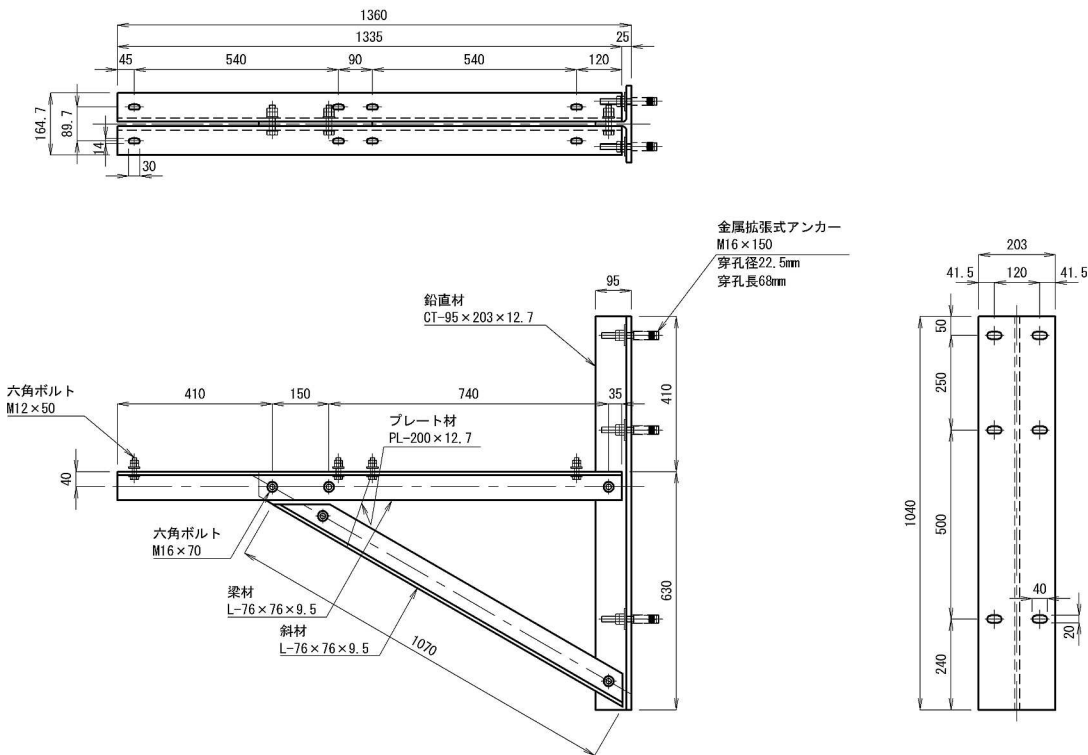
BK1 詳細図



BK2-1 詳細図



BK3 詳細図



八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その5)

P3橋脚 検査路C (K) 数量表

BK1 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	一体型ブラケット	730×450×100	—	1	基	6.84	6.84	GFRP class 1-1	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	梁材	L-76×76×9.5	630	2	本	1.62	3.24	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	六角ボルト	M16(1N,2W)	70	2	組	0.21	0.42	A2-50以上	—
4	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	4	組	0.09	0.36	A2-50以上	—
5	金属拡張式アンカーボルト	M16(1N,1大W)	150	3	組	0.31	0.93	SUS304	—
						合計	11.79		

BK2-1 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	鉛直材	95×203×12.7	865	1	本	6.18	6.18	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	梁材	L-76×76×9.5	705	2	本	1.81	3.62	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	斜材	L-76×76×9.5	722	2	本	1.86	3.72	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	プレート材	PL-200×12.7	300	1	枚	1.45	1.45	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	六角ボルト	M16(1N,2W)	70	5	組	0.21	1.05	A2-50以上	—
6	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	4	組	0.09	0.36	A2-50以上	—
7	金属拡張式アンカーボルト	M16(1N,1大W)	150	6	組	0.31	1.86	SUS304	—
						合計	18.24		

BK3 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	鉛直材	95×203×12.7	1040	1	本	7.43	7.43	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	梁材	L-76×76×9.5	1335	2	本	3.43	6.86	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	斜材	L-76×76×9.5	1070	2	本	2.75	5.50	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	プレート材	PL-200×12.7	300	1	枚	1.45	1.45	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	六角ボルト	M16(1N,2W)	70	5	組	0.21	1.05	A2-50以上	—
6	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	8	組	0.09	0.72	A2-50以上	—
7	金属拡張式アンカーボルト	M16(1N,1大W)	150	6	組	0.31	1.86	SUS304	—
						合計	24.87		

K-1 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	主桁	630×150×85	2820	1	本	45.23	45.23	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	一体型横桁(中間部)	617×131×102	—	2	本	3.55	7.10	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	一体型横桁(端部)	617×131×102	—	1	本	3.55	3.55	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	防護柵支柱	□-50×50 t5.0	1270	5	本	2.17	10.85	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	防護柵内部補強材	■-38×38	225	5	本	0.62	3.10	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
6	防護柵支柱蓋	□-57×57 t3.1	—	5	個	0.08	0.40	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
7	防護柵手摺	φ38 t5.0	2820	3	本	2.82	8.46	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
8	端部用防護柵 手摺	φ38 t5.0	630	3	本	0.63	1.89	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
9	防護柵接合ピン	φ9.5	50	15	本	0.01	0.15	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
10	爪先板	M-100×14×3.0	2820	1	枚	3.10	3.10	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
11	端部爪先板	M-100×14×3.0	588	1	枚	0.65	0.65	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
12	一体型横桁接合ピン	φ9.5	13	6	本	0.00	0.00	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
13	六角ボルト	M10(1N,2W)	80	5	組	0.08	0.40	A2-50以上	—
14	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	6	組	0.09	0.54	A2-50以上	—
15	六角ボルト	M12(1N,2W)	100	10	組	0.14	1.40	A2-50以上	—
16	トラス小ねじ	M8(1N,1W)	45	2	組	0.03	0.06	A2-50以上	—
						合計	86.88		

K-2 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	主桁	630×150×85	2490	1	本	39.94	39.94	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	一体型横桁(中間部)	617×131×102	—	2	本	3.55	7.10	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	防護柵支柱	□-50×50 t5.0	1270	2	本	2.17	4.34	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	防護柵内部補強材	■-38×38	225	2	本	0.62	1.24	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	防護柵支柱蓋	□-57×57 t3.1	—	2	個	0.08	0.16	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
6	防護柵手摺	φ38 t5.0	2490	3	本	2.49	7.47	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
7	防護柵接合ピン	φ9.5	50	6	本	0.01	0.06	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
8	爪先板	M-100×14×3.0	2490	1	枚	2.74	2.74	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
9	一体型横桁接合ピン	φ9.5	13	4	本	0.00	0.00	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
10	六角ボルト	M10(1N,2W)	80	2	組	0.08	0.16	A2-50以上	—
11	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	4	組	0.09	0.36	A2-50以上	—
12	六角ボルト	M12(1N,2W)	100	4	組	0.14	0.56	A2-50以上	—
						合計	64.13		

K-3 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	主桁	630×150×85	1800	1	本	28.87	28.87	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	主桁	630×150×85	1500	2	本	24.06	48.12	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	一体型横桁(中間部)	617×131×102	—	4	本	3.55	14.20	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	一体型横桁(端部)	617×131×102	—	2	本	3.55	7.10	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	防護柵支柱	□-50×50 t5.0	1270	10	本	2.17	21.70	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
6	防護柵内部補強材	■-38×38	225	10	本	0.62	6.20	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
7	防護柵支柱蓋	□-57×57 t3.1	—	10	個	0.08	0.80	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
8	防護柵手摺	φ38 t5.0	1800	3	本	1.80	5.40	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
9	防護柵手摺	φ38 t5.0	700	6	本	0.70	4.20	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
10	端部用防護柵 手摺	φ38 t5.0	630	6	本	0.63	3.78	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
11	防護柵接合ピン	φ9.5	50	30	本	0.01	0.30	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
12	爪先板	M-100×14×3.0	1800	1	本	1.98	1.98	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
13	爪先板	M-100×14×3.0	750	2	枚	0.83	1.66	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
14	端部爪先板	M-100×14×3.0	588	2	枚	0.85	1.30	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
15	一体型横桁接合ピン	φ9.5	13	12	本	0.00	0.00	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
16	横桁梁材	[-100×50×7.5×7.5	598	2	本	1.64	3.28	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
17	横桁ブラケット	L-76×76×9.5	100	4	個	0.26	1.04	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
18	床板梁材	L-50×50×6.4	425	2	本	0.48	0.96	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
19	床板	W425×t28 (GR38×38×25 + PL-3.0)	290	1	枚	2.12	2.12	GFRP class 1-1	フッ素樹脂塗装 25 μm
20	六角ボルト	M10(1N,2W)	80	10	組	0.08	0.80	A2-50以上	—
21	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	30	組	0.09	2.70	A2-50以上	—
22	六角ボルト	M12(1N,2W)	100	20	組	0.14	2.80	A2-50以上	—
23	トラス小ねじ	M8(1N,1W)	45	4	組	0.03	0.12	A2-50以上	—
24	トラス小ねじ	M8(1N,1W)	60	4	組	0.04	0.16	A2-50以上	—
						合計	159.59		

K-4 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	主桁	630×150×85	3725	1	本	59.75	59.75	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	一体型横桁(中間部)	617×131×102	—	2	本	3.55	7.10	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	一体型横桁(端部)	617×131×102	—	1	本	3.55	3.55	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	防護柵支柱	□-50×50 t5.0	1270	5	本	2.17	10.85	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	防護柵内部補強材	■-38×38	225	5	本	0.62	3.10	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
6	防護柵支柱蓋	□-57×57 t3.1	—	5	個	0.08	0.40	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
7	防護柵手摺	φ38 t5.0	3725	3	本	3.73	11.19	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
8	端部用防護柵 手摺	φ38 t5.0	630	3	本	0.63	1.89	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
9	防護柵接合ピン	φ9.5	50	15	本	0.01	0.15	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
10	爪先板	M-100×14×3.0	3725	1	枚	4.10	4.10	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
11	端部爪先板	M-100×14×3.0	588	1	枚	0.65	0.65	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
12	一体型横桁接合ピン	φ9.5	13	6	本	0.00	0.00	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
13	六角ボルト	M10(1N,2W)	80	5	組	0.08	0.40	A2-50以上	—
14	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	6	組	0.09	0.54	A2-50以上	—
15	六角ボルト	M12(1N,2W)	100	10	組	0.14	1.40	A2-50以上	—
16	トラス小ねじ	M8(1N,1W)	45	2	組	0.03	0.06	A2-50以上	—
						合計	105.13		

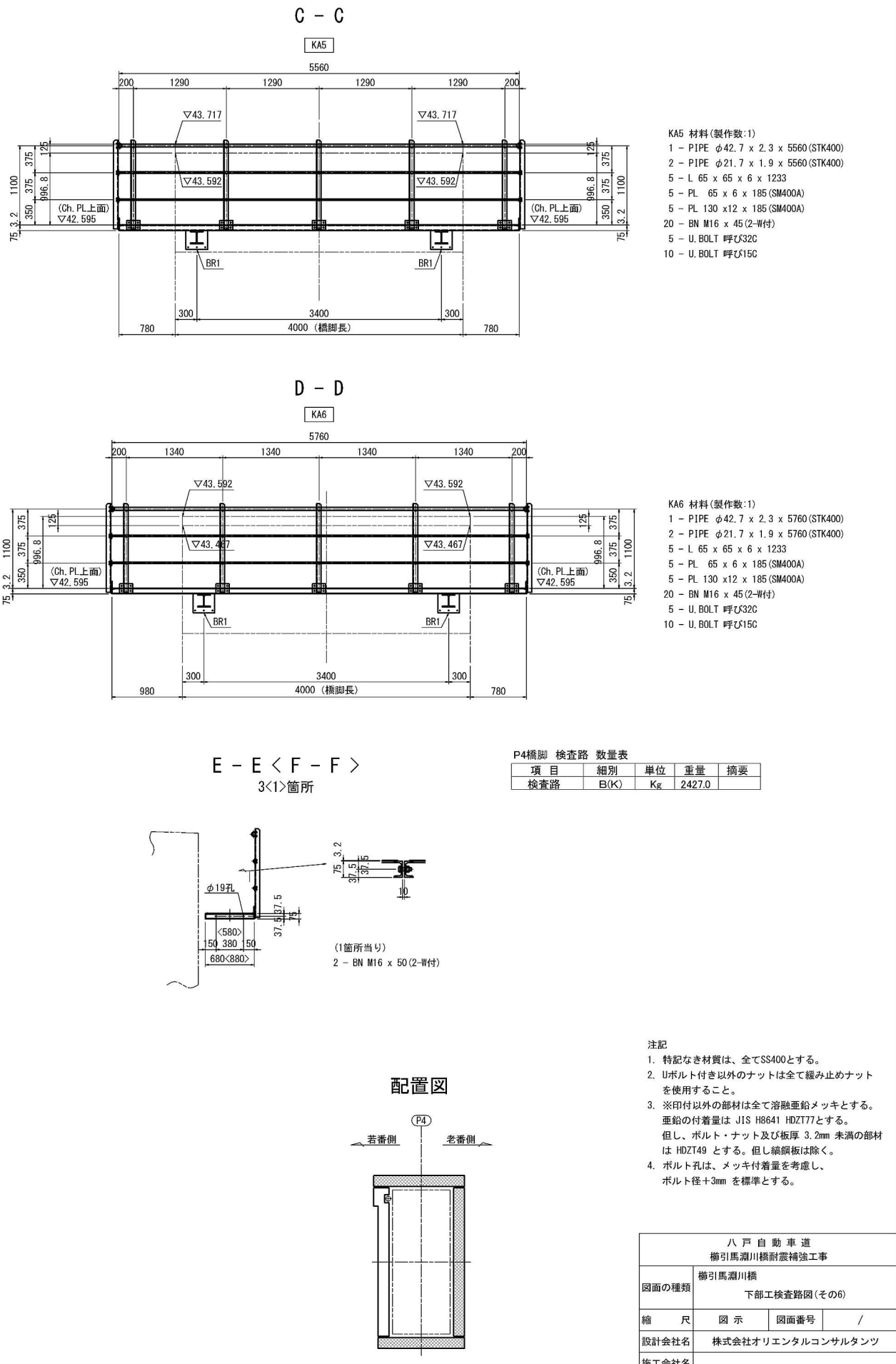
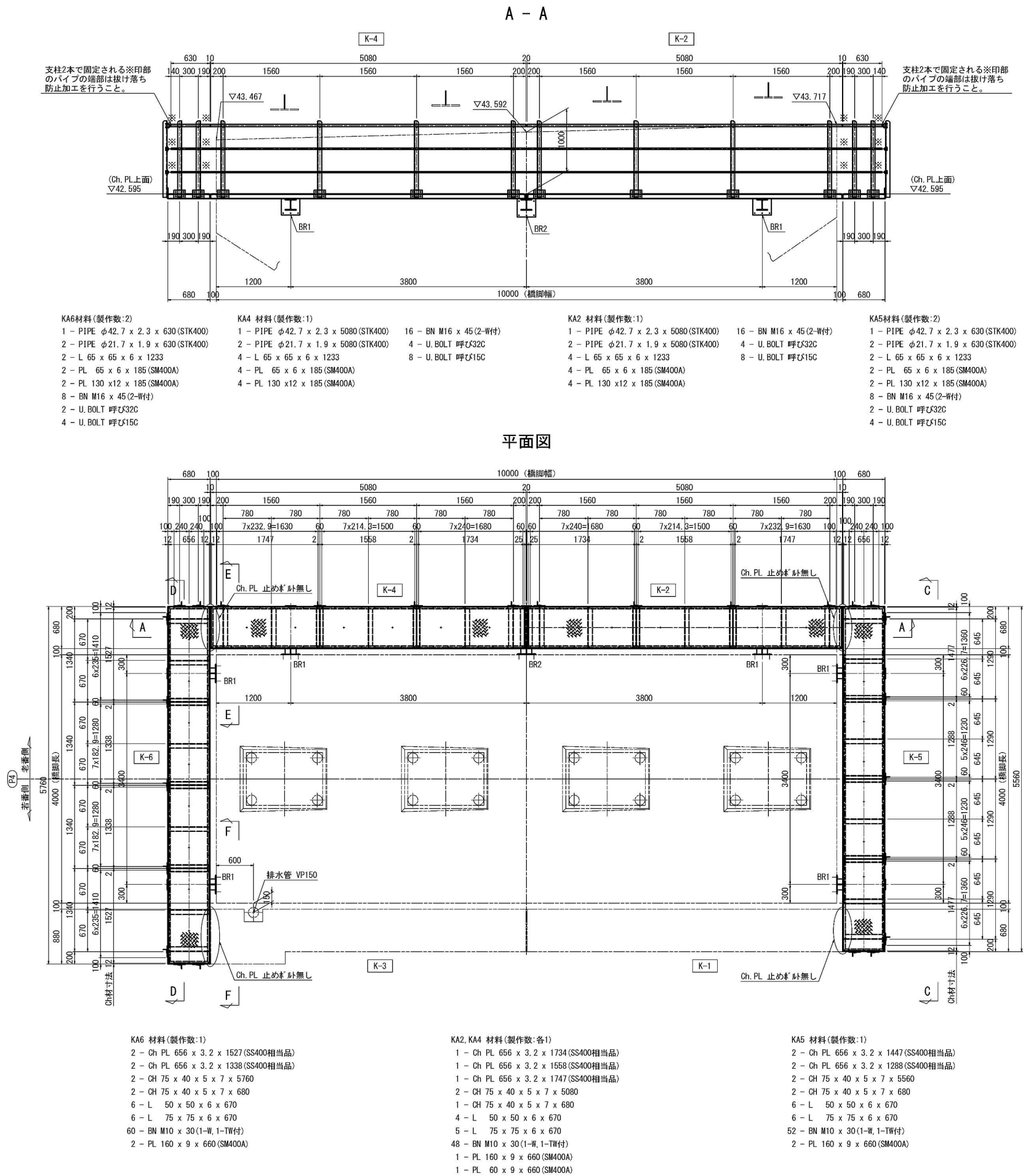
K-5 1基当たりの数量表

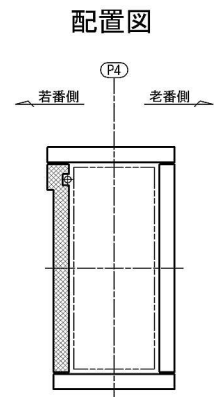
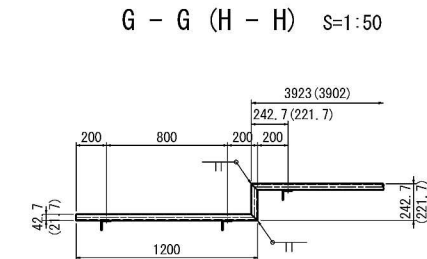
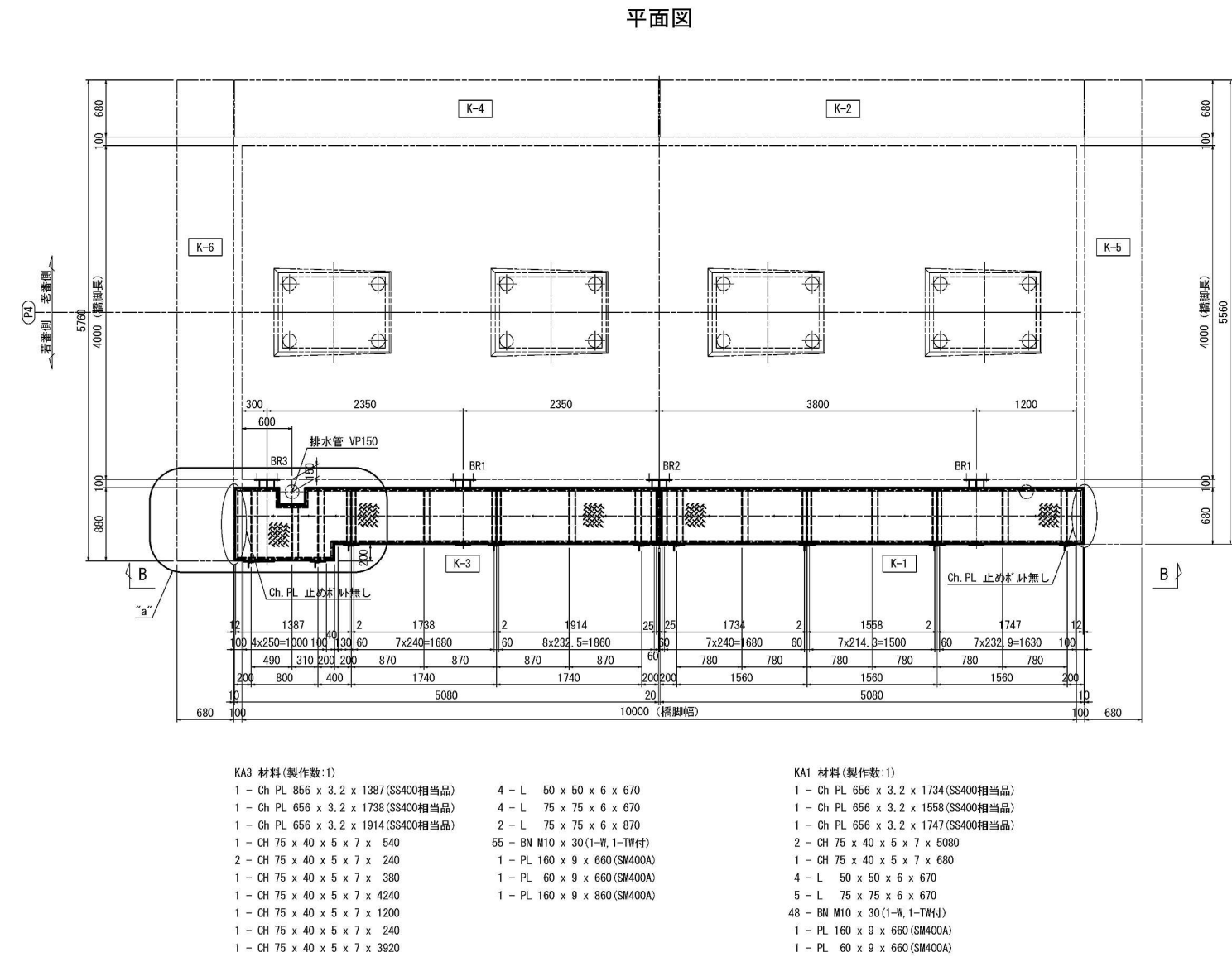
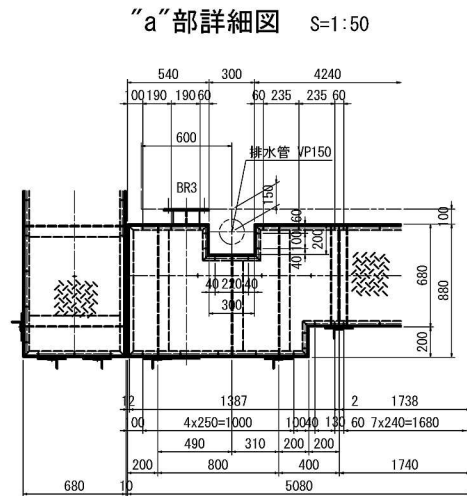
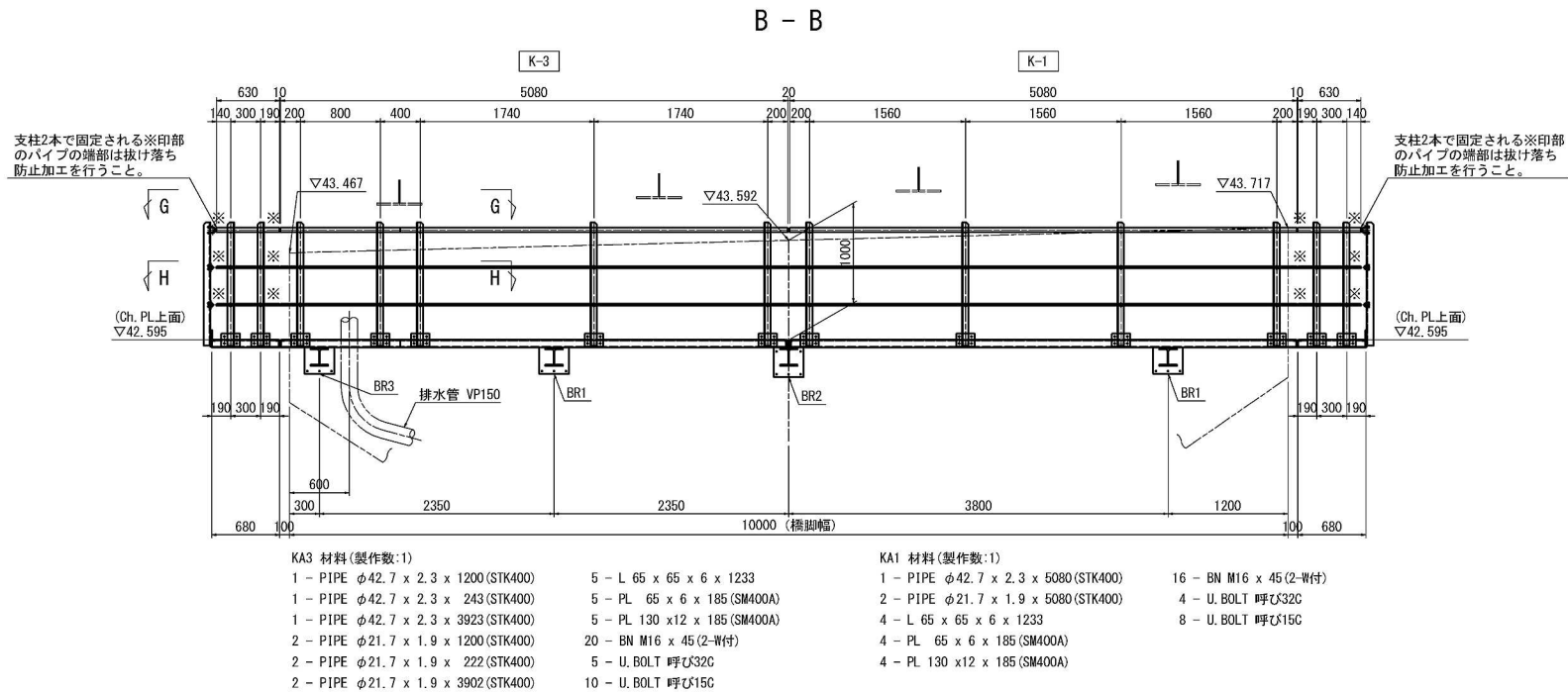
番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	主桁	630×150×85	3990	1	本	64.00	64.00	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	一体型横桁(中間部)	617×131×102	—	3	本	3.55	10.65	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	防護柵支柱	□-50×50 t5.0	1270	3	本	2.17	6.51	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	防護柵内部補強材	■-38×38	225	3	本	0.62	1.86	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	防護柵支柱蓋	□-57×57 t3.1	—	3	個	0.08	0.24	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
6	防護柵手摺	φ38 t5.0	3990	3	本	3.99	11.97	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
7	防護柵接合ピン	φ9.5	50	9	本	0.01	0.09	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
8	爪先板	M-100×14×3.0	3990	1	枚	4.39	4.39	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
9	一体型横桁接合ピン	φ9.5	13	6	本	0.00	0.00	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
10	六角ボルト	M10(1N,2W)	80	3	組	0.08	0.24	A2-50以上	—
11	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	6	組	0.09	0.54	A2-50以上	—
12	六角ボルト	M12(1N,2W)	100	6	組	0.14	0.84	A2-50以上	—
						合計	101.33		

K-6 1基当たりの数量表

番号	名称	形状・寸法	長さ [mm]	員数	単位	組重量 [kg]	総重量 [kg]	材質	表面処理
1	主桁	630×150×85	3600	1	本	57.74	57.74	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
2	一体型横桁(中間部)	617×131×102	—	3	本	3.55	10.65	GFRP class 2-2	フッ素樹脂塗装 25 μm
3	防護柵支柱	□-50×50 t5.0	1270	3	本	2.17	6.51	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
4	防護柵内部補強材	■-38×38	225	3	本	0.62	1.86	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
5	防護柵支柱蓋	□-57×57 t3.1	—	3	個	0.08	0.24	GFRP	フッ素樹脂塗装 25 μm
6	防護柵手摺	φ38 t5.0	3600	3	本	3.60	10.80	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
7	防護柵接合ピン	φ9.5	50	9	本	0.01	0.09	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
8	爪先板	M-100×14×3.0	3600	1	枚	3.96	3.96	GFRP class G4S	フッ素樹脂塗装 25 μm
9	一体型横桁接合ピン	φ9.5	13	6	本	0.00	0.00	GFRP class G6	フッ素樹脂塗装 25 μm
10	六角ボルト	M10(1N,2W)	80	3	組	0.08	0.24	A2-50以上	—
11	六角ボルト	M12(1N,2W)	50	6	組	0.09	0.54	A2-50以上	—
12	六角ボルト	M12(1N,2W)	100	6	組	0.14	0.84	A2-50以上	—
						合計	93.47		

櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その6) S=1:75
P4橋脚 検査路B(K) (その1)



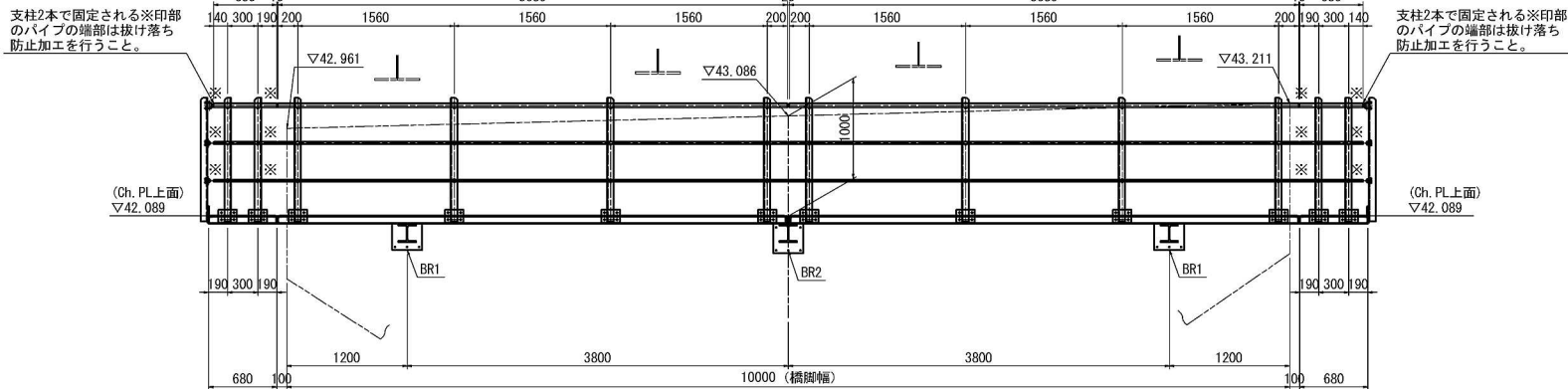


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し鍍銀板は除く。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

検査路B(K) (その1)

A - A



KA6材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
2 - PL 65 x 6 x 185(SM400A)
2 - PL 130 x12 x 185(SM400A)
8 - BN M16 x 45 (2-冊付)
2 - U. BOLT 呼び32C
4 - U. BOLT 呼び15C

KA4 材料(製作数:1)

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.1 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-桁付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U.BOLT 呼びF32C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U.BOLT 呼びF15C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

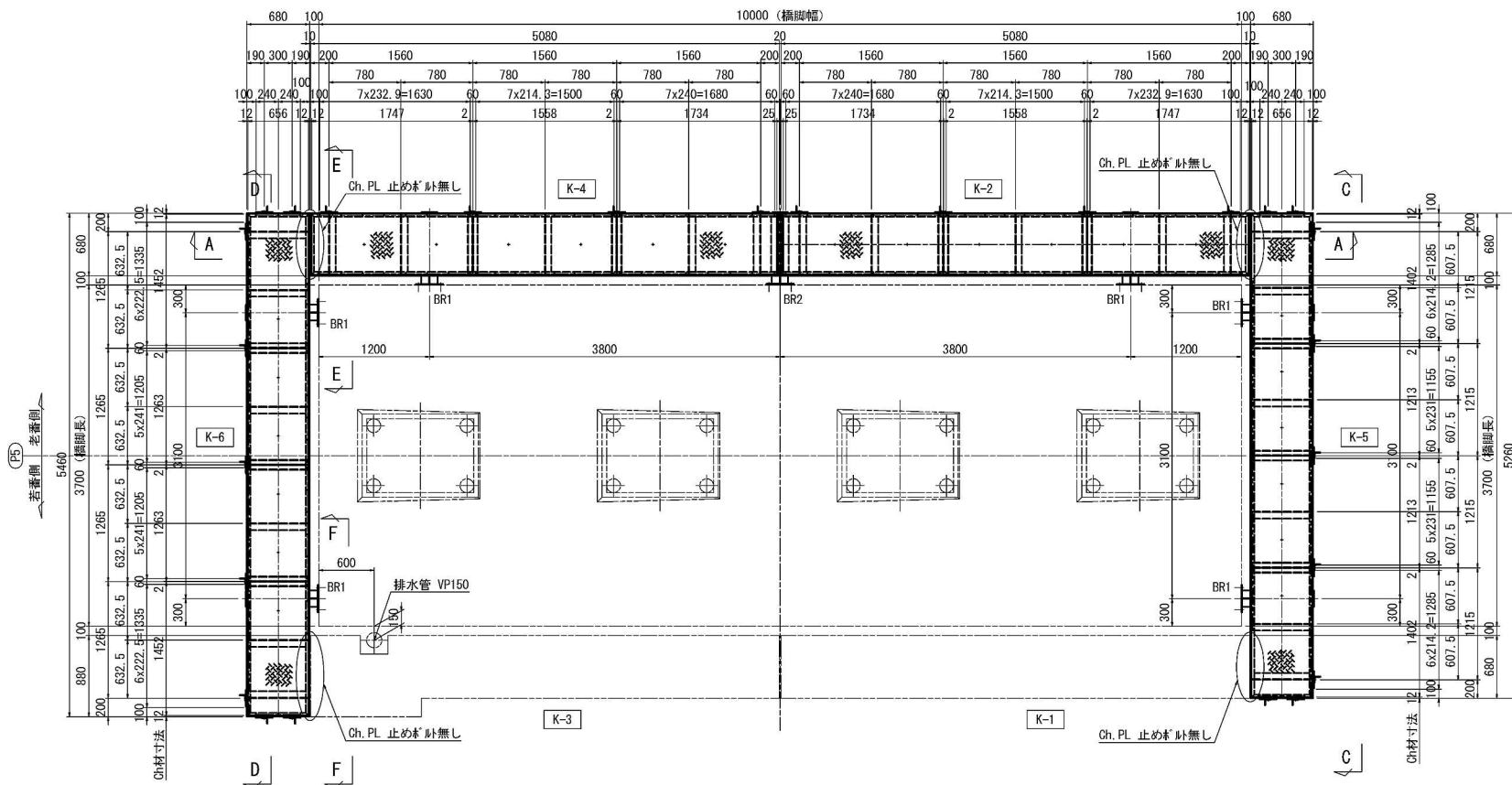
KA2 材料(製作数:1)

- | | |
|--|----------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 x 45 (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼び $\phi 32$ C |
| 4 - L 65 x 65 x 6 x 1233 | 8 - U. BOLT 呼び $\phi 15$ C |
| 4 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A) | |
| 4 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A) | |

KA5材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
 2 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$
 2 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A)
 2 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A)
 8 - BN M16 $\times 45$ (2-#付)
 2 - U. BOLT 呼び32C
 4 - U. BOLT 呼び15C

平面図



KA6 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 656 x 3.2 x 1452 (SS400相当品)
2 - CH PL 656 x 3.2 x 1263 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5460
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
6 - L 50 x 50 x 6 x 670
6 - L 75 x 75 x 6 x 670
51 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

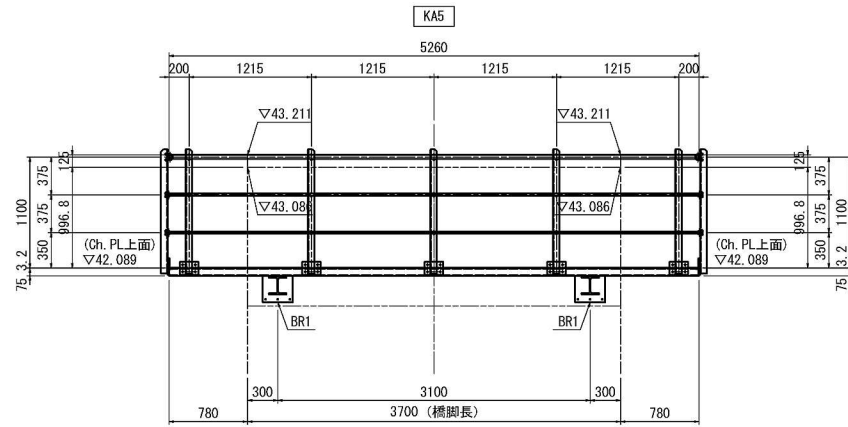
KA2, KA4 材料(製作数:各1)

- 1 - CH PL 656 x 3.2 x 1734 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1558 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1747 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5080
1 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

KA5 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 656 x 3.2 x 1402 (SS400相当品)
2 - CH PL 656 x 3.2 x 1213 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5260
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
6 - L 50 x 50 x 6 x 670
6 - L 75 x 75 x 6 x 670
52 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

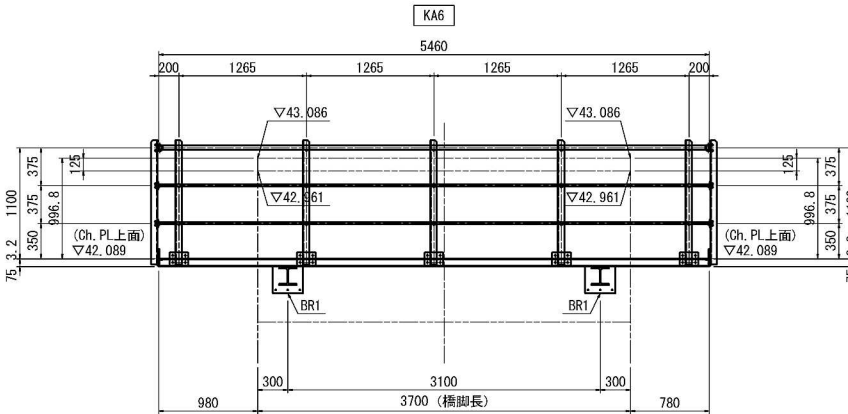
C - C



KA5 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5260$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5260$ (STK400)
 5 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$
 5 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A)
 5 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A)
 20 - BN M16 $\times 45$ (2-W付)
 5 - U. BOLT 呼び32C
 10 - U. BOLT 呼び15C

D - D

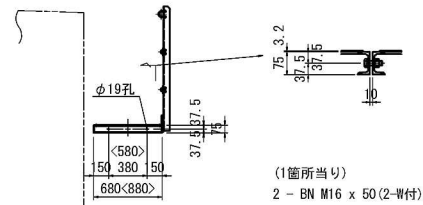


KA6 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5460$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5460$ (STK400)
 5 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 5 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 5 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 20 - BN M16 x 45 (2-W付)
 5 - U. BOLT 呼び32C
 10 - U. BOLT 呼び15C

$$E - E < F - F >$$

3<1>箇所

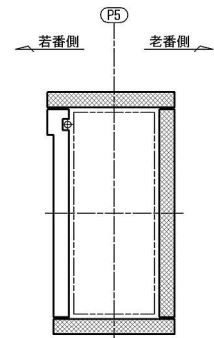


2 - BN M16 x 50 (2-W付)

P5橋脚 検査路 数量表

項 目	細別	單位	重量	摘要
檢查路	B(K)	Kg	2406.0	

配置区



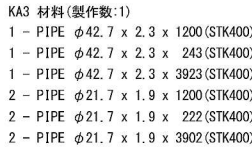
注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZ749 とする。但し鋼銅板は除く。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mm を標準とする。

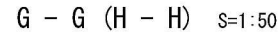
八 戸 自 動 車 道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査略図(その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエントアルコンサルタツツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

検査路B(K) (その2)

B - B



平面图



配置図

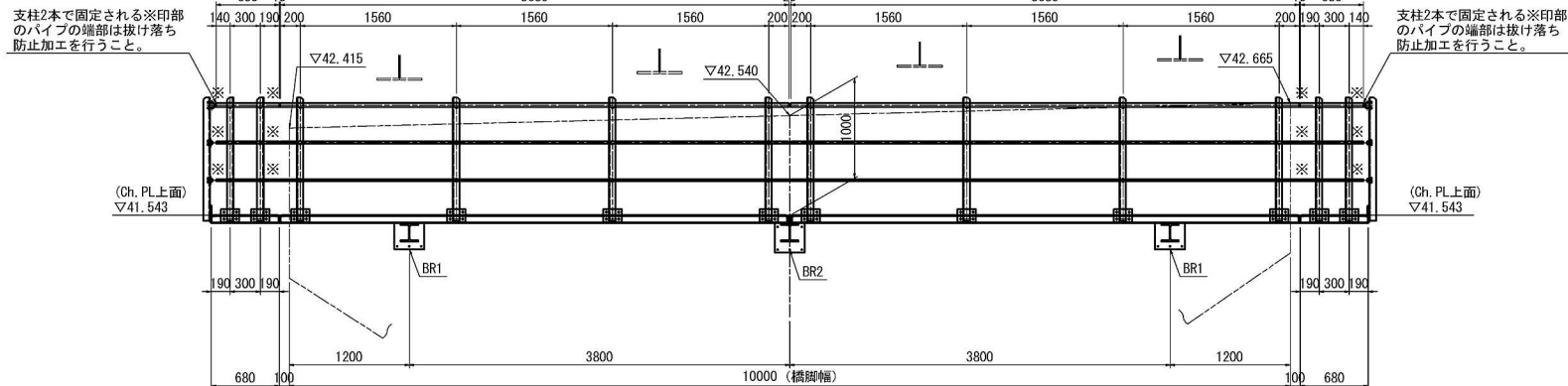


- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 3. ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZ749 とする。但し線鋼板は除く。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mm を標準とする。

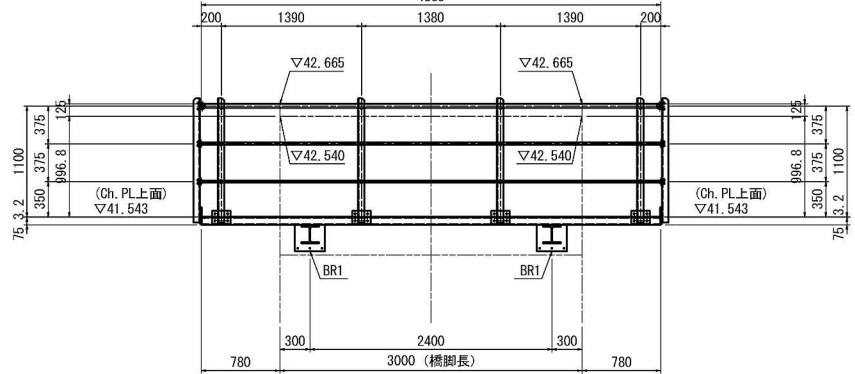
<p style="text-align: center;">八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事</p>			
<p style="text-align: center;">橋引馬淵川橋</p>			
図面の種類	下部工検査路図(その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

P6橋脚 検査路B(K) (その1)

A - A



C - C



KA5 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4560$ (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4560$ (STK400)
- 4 - L $65 \times 65 \times 6 \times 1233$
- 4 - PL $65 \times 6 \times 185$ (SM400A)
- 4 - PL $130 \times 12 \times 185$ (SM400A)
- 16 - BN M16 $\times 45$ (2-冊付)
- 4 - U. BOLT 呼び $\phi 32$ G
- 8 - U. BOLT 呼び $\phi 15$ C

KA6材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
 2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 2 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 2 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 8 - BN M16 x 45 (2-付)
 2 - U. BOLT 呼び32C
 4 - U. BOLT 呼び15C

KA4 材料(製作数:1)

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-ワ付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U.BOLT 呼びJ32C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U.BOLT 呼びJ15C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

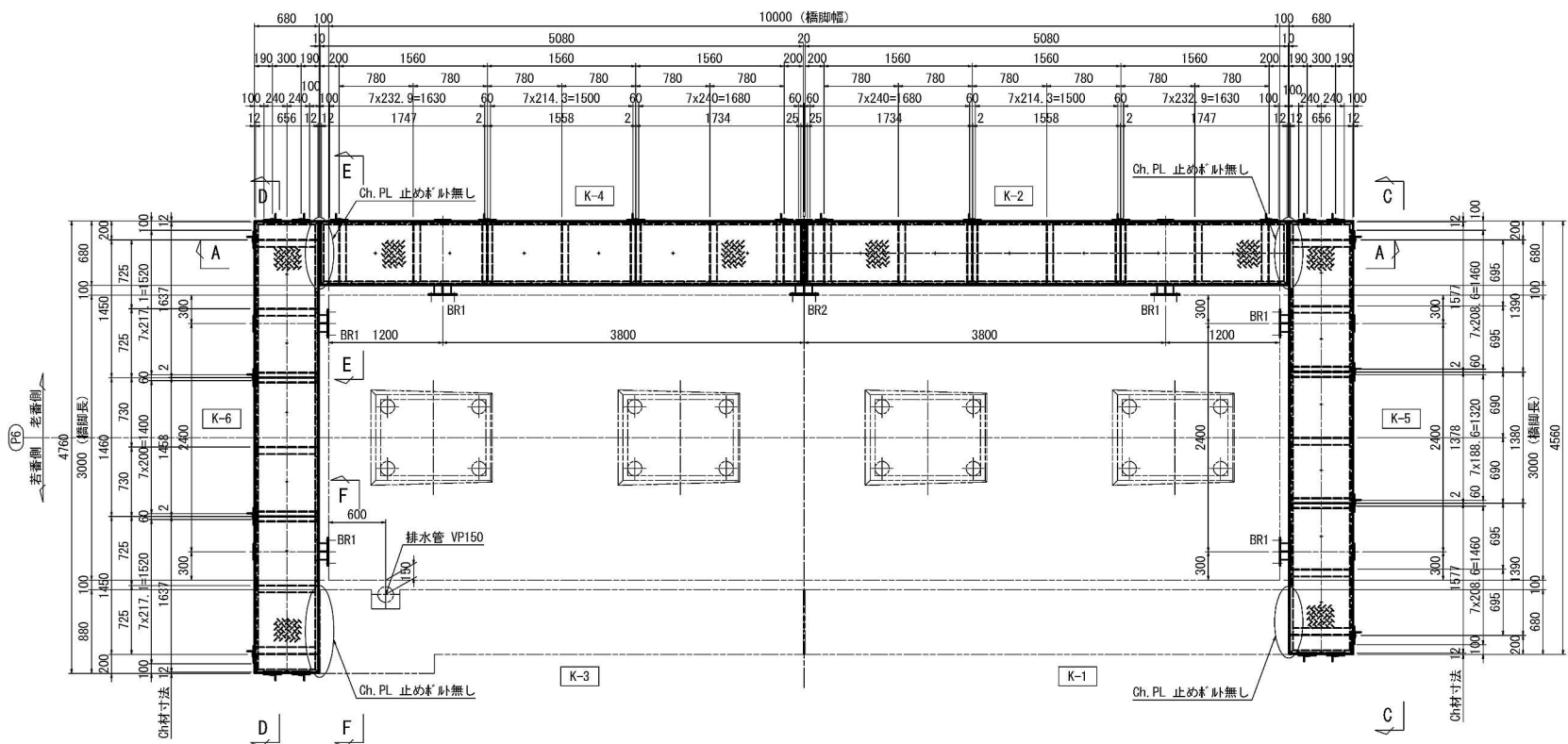
KA2 材料(製作数:1)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U.BOLT 呼び $\phi 32C$ |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U.BOLT 呼び $\phi 15C$ |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

KA5材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
2 - PL 65 x 6 x 185(SM400A)
2 - PL 130 x 12 x 185(SM400A)
2 - BN M16 x 45(2-材付)
8 - U.BOLT 呼び32C
4 - U.BOLT 呼び15C

平面图



KA6 材料(製作数:1)

- 2 - Ch PL 656 x 3.2 x 1637(SS400相当品)
1 - Ch PL 656 x 3.2 x 1458(SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 4760
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
47 - BN M10 x 30(1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660(SM400A)

KA2, KA4 材料(製作数:各1)

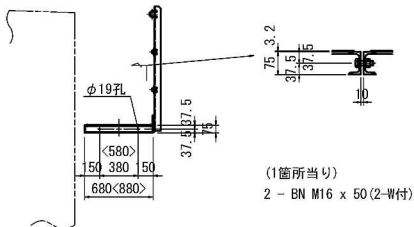
- 1 - CH PL 656 x 3.2 x 1734 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1558 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1747 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5080
1 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

KA5 材料(製作数:1)

- 2 - Ch PL 656 x 3.2 x 1577 (SS400相当品)
1 - Ch PL 656 x 3.2 x 1378 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 4560
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

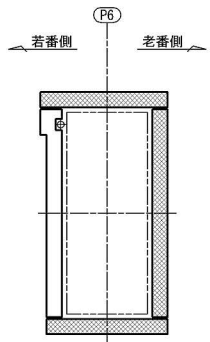
$$E - E < F - F >$$

3<1>箇所



2 - BN M16 x 50 (2-W付)

配置区

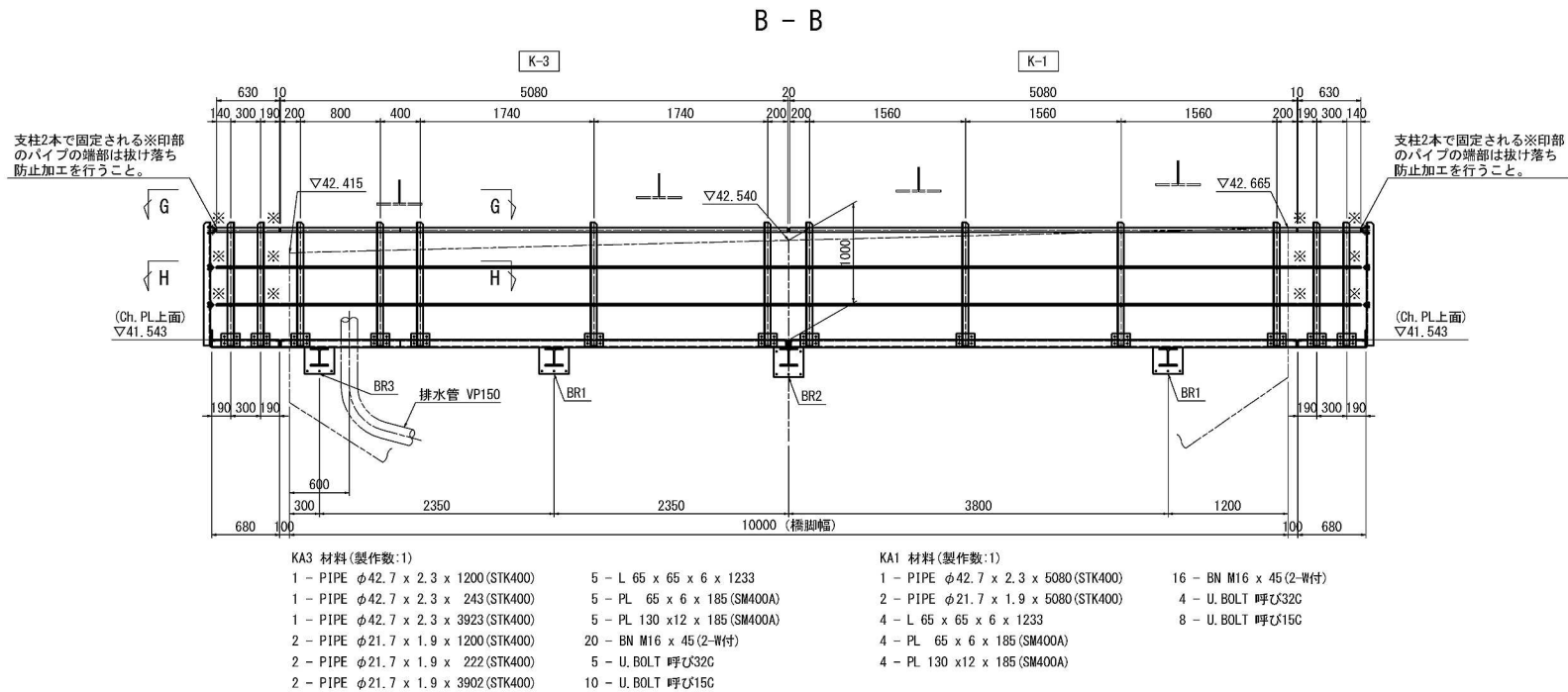


項 目	細別	單位	重量	摘要
檢查路	B(K)	Kg	2312.0	

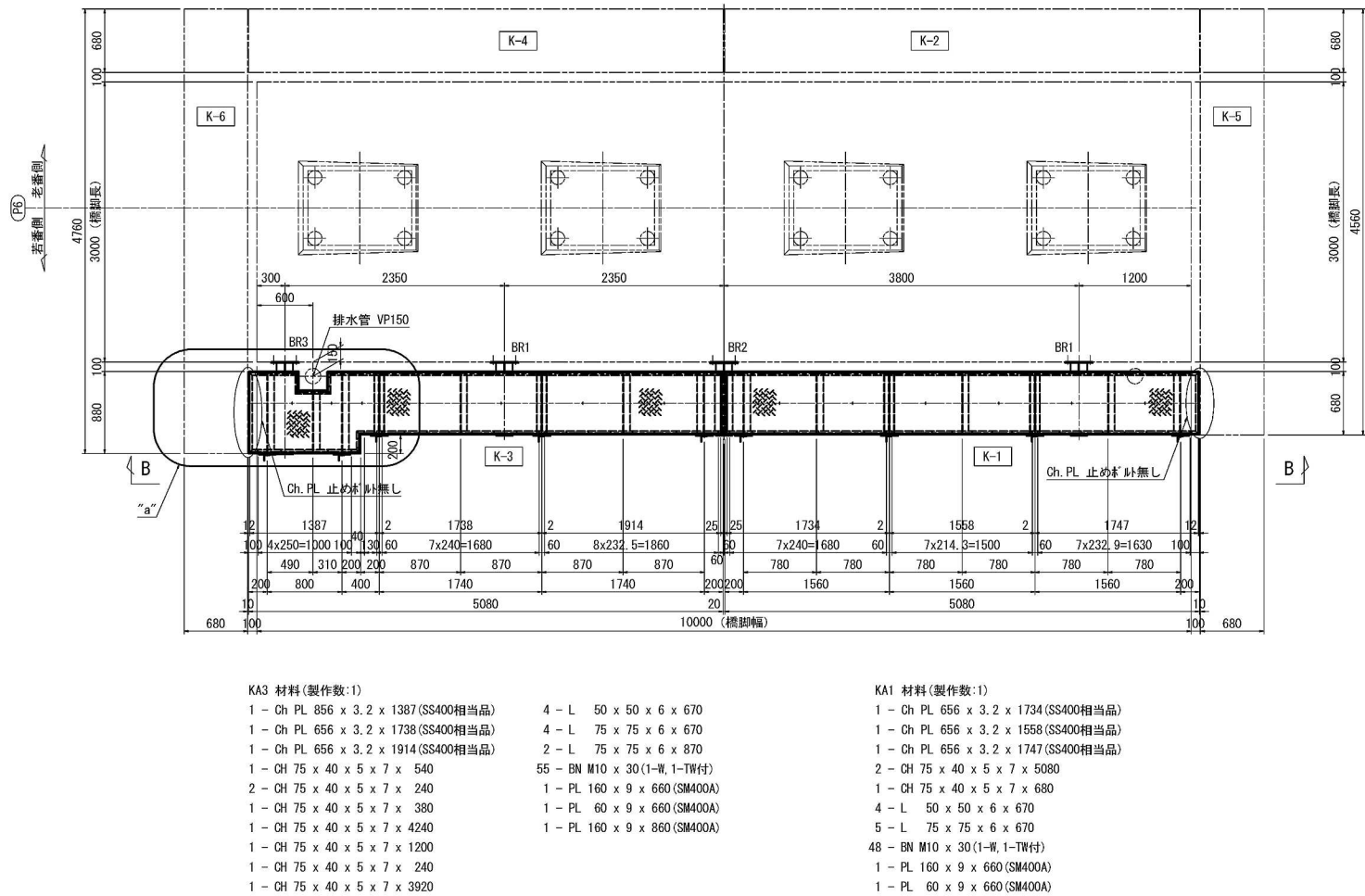
注記

1. 特記なき材質は、全てS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印付の付着量は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し線鋼板は除く。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

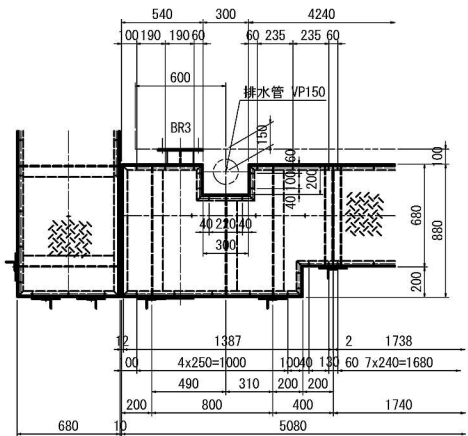
八 戸 自 動 車 道			
榊引馬瀬川横切沢補強工事			
榊引馬瀬川橋			
図面の種類	下部工検査路図(その10)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエントラルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		



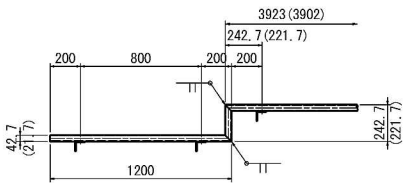
平面図



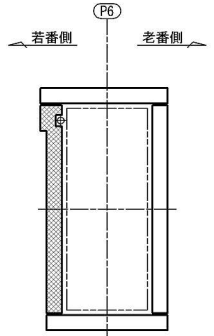
"a"部詳細図 S=1:50



G - G (H - H) S=1:50



配置図

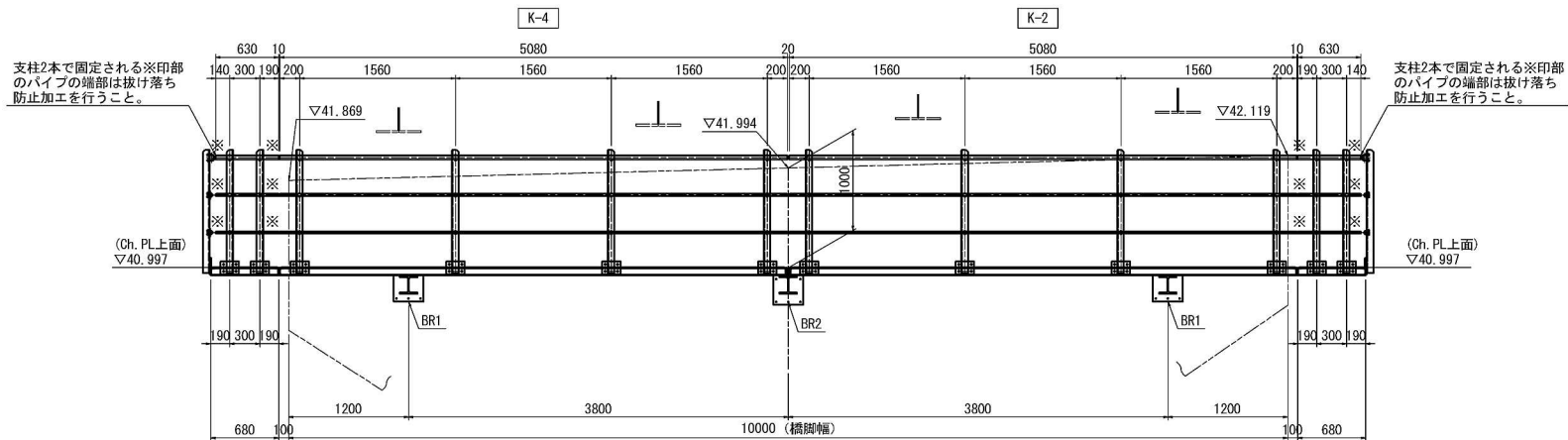


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し鍍銀板は除く。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その11)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

P7橋脚 検査路B(K) (その1)

A - A



KA6材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$
2 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A)
2 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A)
8 - BN M16 $\times 45$ (2-両付)
2 - U. BOLT 呼び32C
4 - U. BOLT 呼び15C

KA4 材料(製作数:1)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼びJ32C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U. BOLT 呼びJ51C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

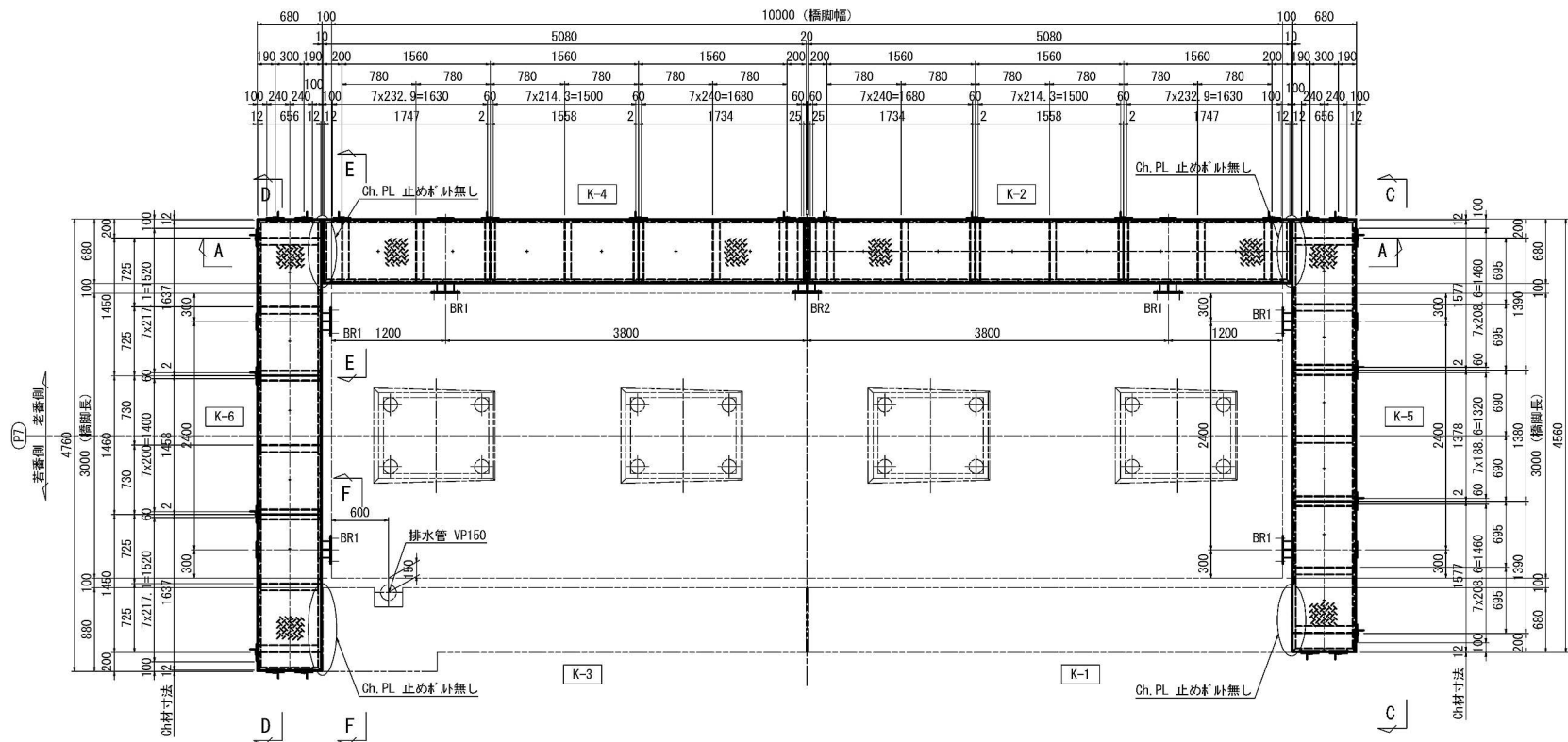
KA2 材料(製作数:1)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼び $\phi 32C$ |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U. BOLT 呼び $\phi 15C$ |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

KA5材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
 2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 2 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 2 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 8 - BN M16 x 45 (2-冊付)
 2 - U. BOLT 呼びJ32C
 4 - U. BOLT 呼びJ15C

平面图



KA6 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 656 x 3.2 x 1637 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1458 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 4760
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
47 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

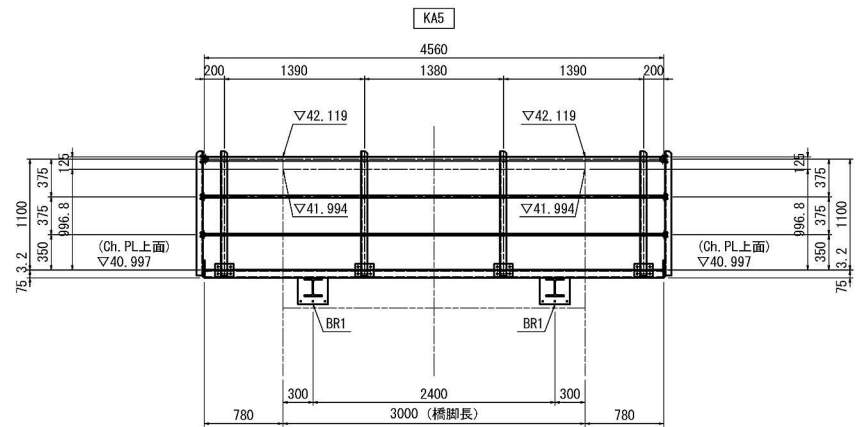
KA2, KA4 材料(製作数:各1)

- 1 - CH PL 656 x 3.2 x 1734 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1558 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1747 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5080
1 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

KA5 材料(製作数:1)

- 2 - Ch PL 656 x 3.2 x 1577 (SS400相当品)
1 - Ch PL 656 x 3.2 x 1378 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 4560
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

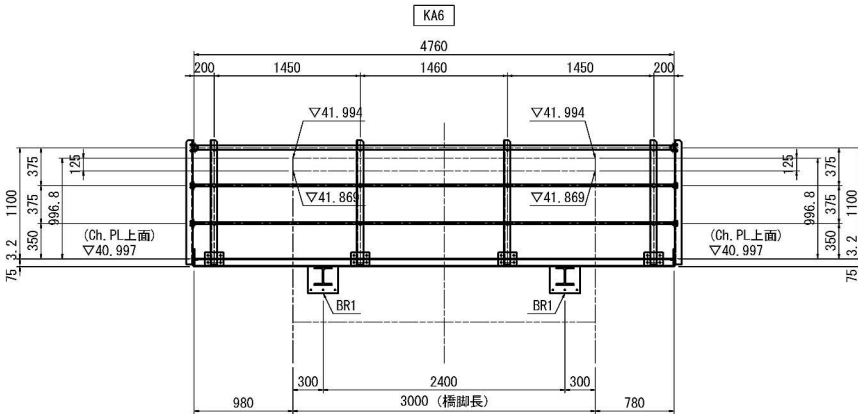
C - C



KA5 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4560$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4560$ (STK400)
 4 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 4 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 4 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 16 - BN M16 x 45 (2-W付)
 4 - U. BOLT 呼び32C
 8 - U. BOLT 呼び15C

D - D

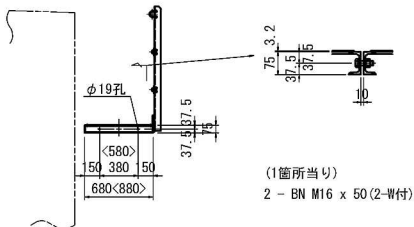


KA6 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4760$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4760$ (STK400)
 4 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 4 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 4 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 16 - BN M16 x 45 (2-W付)
 4 - U. BOLT 呼び32C
 8 - U. BOLT 呼び15C

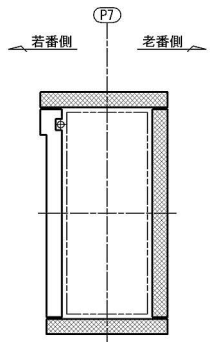
$$E - E < F - F >$$

3<1>箇所



2 - BN M16 x 50 (2-W付)

配置区



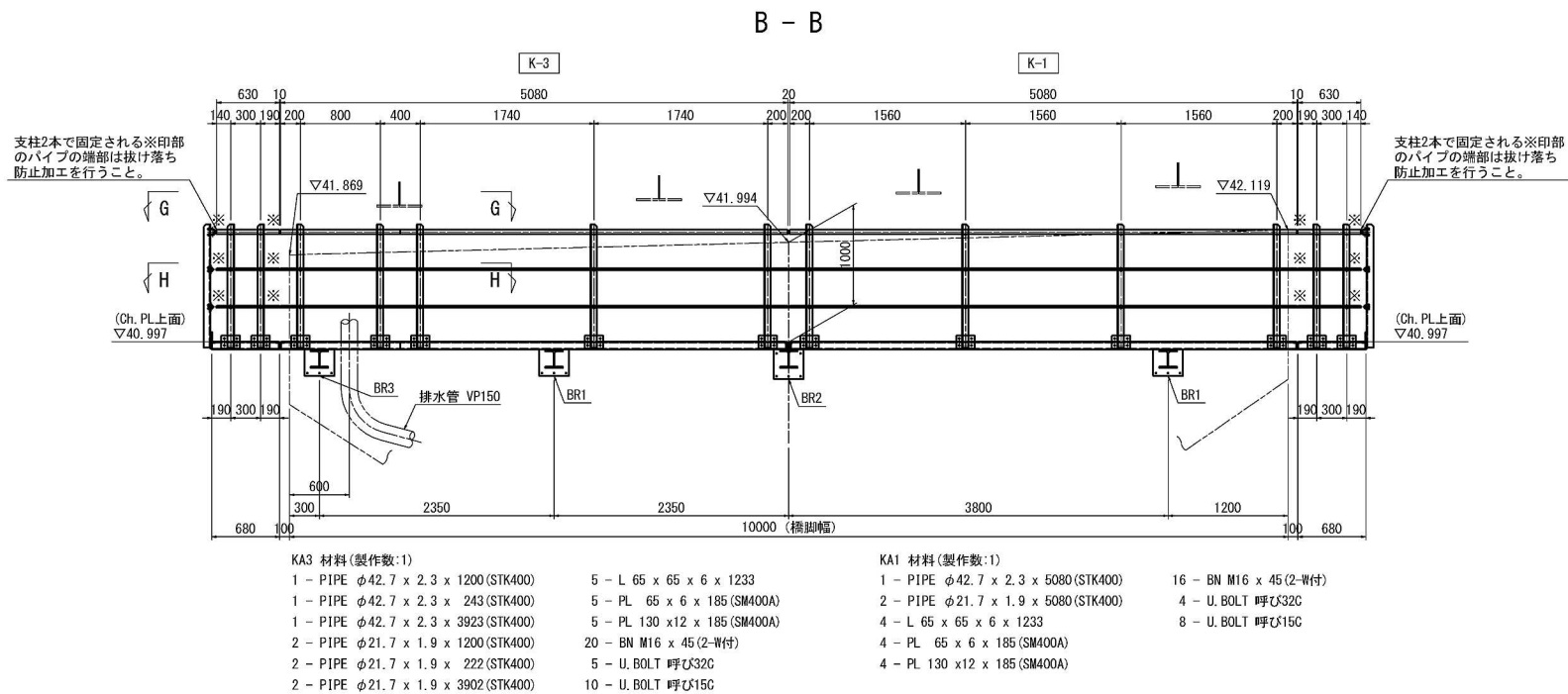
P7橋脚 検査路 数量表

項 目	細別	單位	重量	摘要
検査路	B(K)	Kg	2312.0	

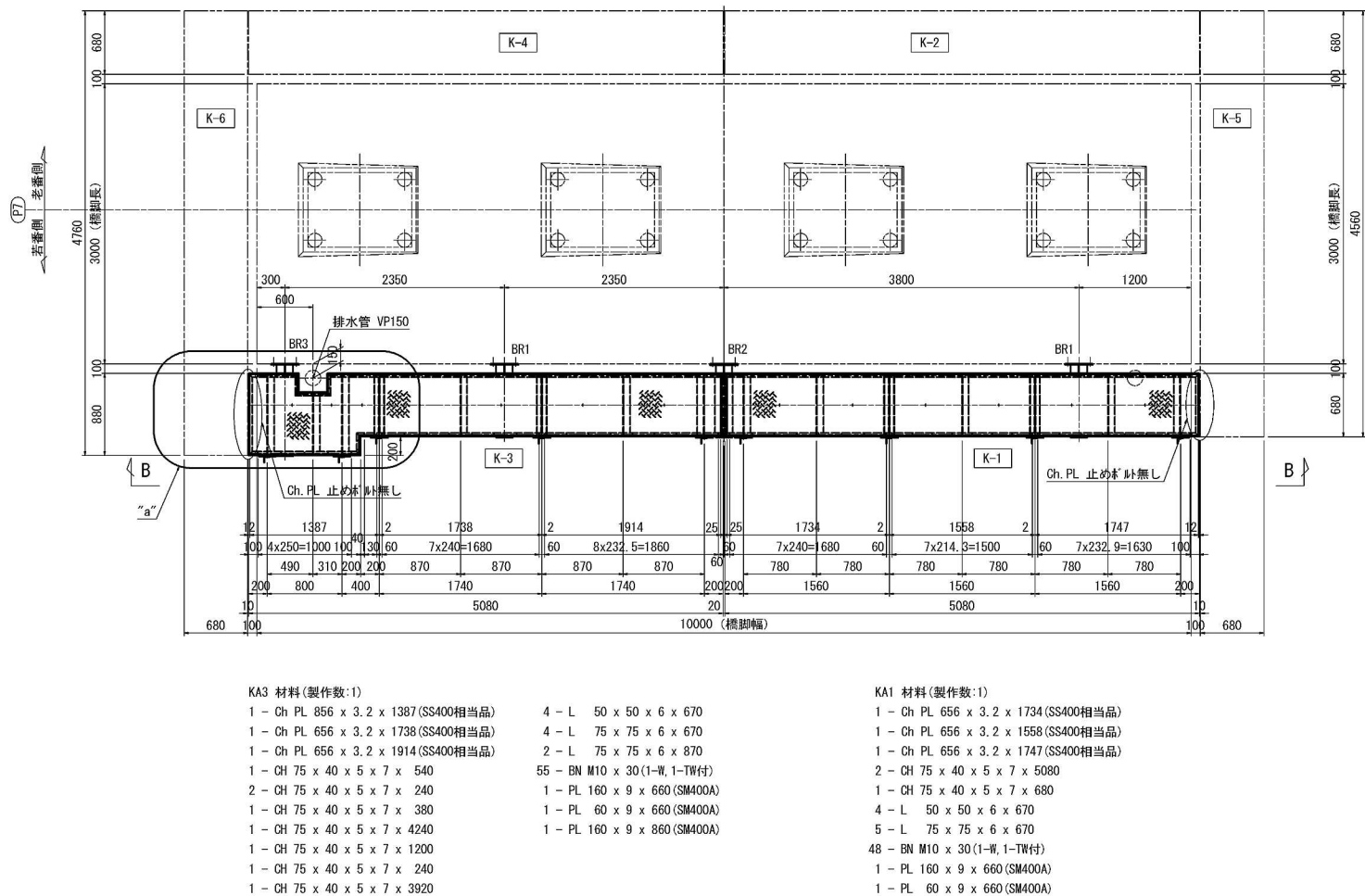
注記

1. 特記なき材質は、全てS4400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用とする。
3. ※印付の付着量は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し線頭部は除く。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

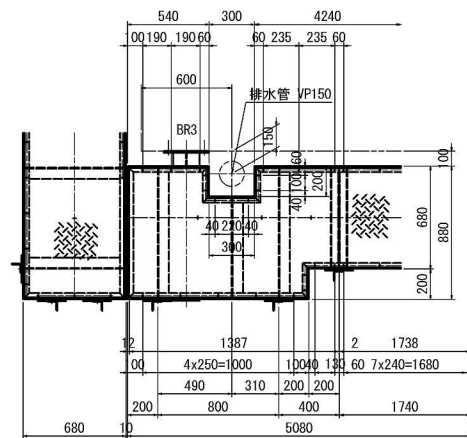
八 戸 自 動 車 道 櫛引馬淵川橋脚震補強工事				
図面の種類		櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その12)		
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所			



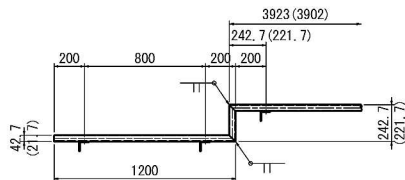
平面図



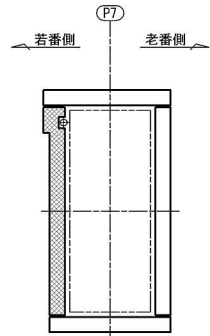
“a”部詳細図 S=1:50



G - G (H - H) S=1:50



配置図

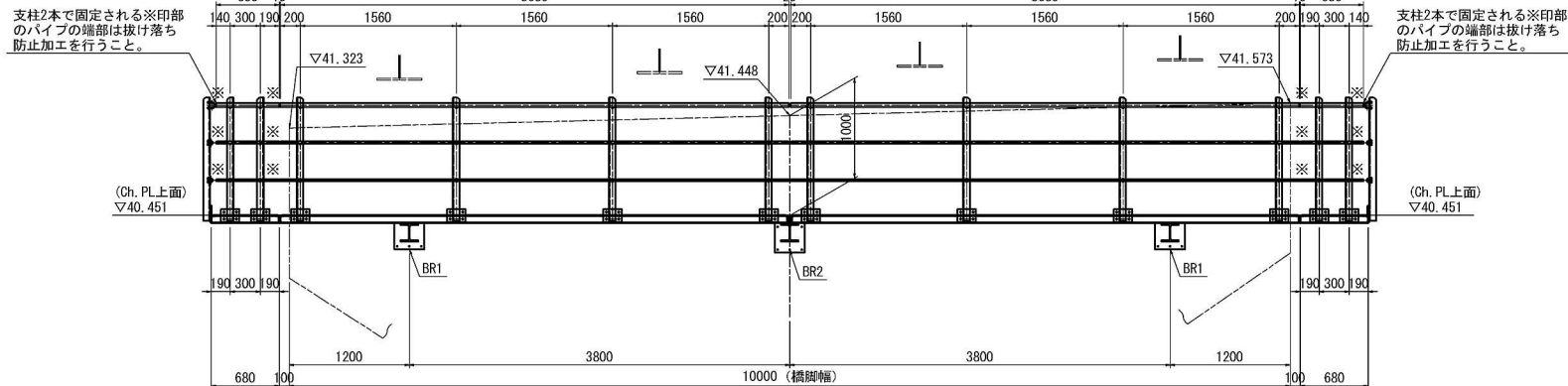


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し鍍銀板は除く。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その13)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

P8橋脚 検査路B(K) (その1)

A - A



KA6材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
2 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
2 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
8 - BN M16 x 45 (2-冊付)
2 - U. BOLT 呼び32C
4 - U. BOLT 呼び15C

KA4 材料(製作数:1)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼び $\phi 32$ C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U. BOLT 呼び $\phi 15$ C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

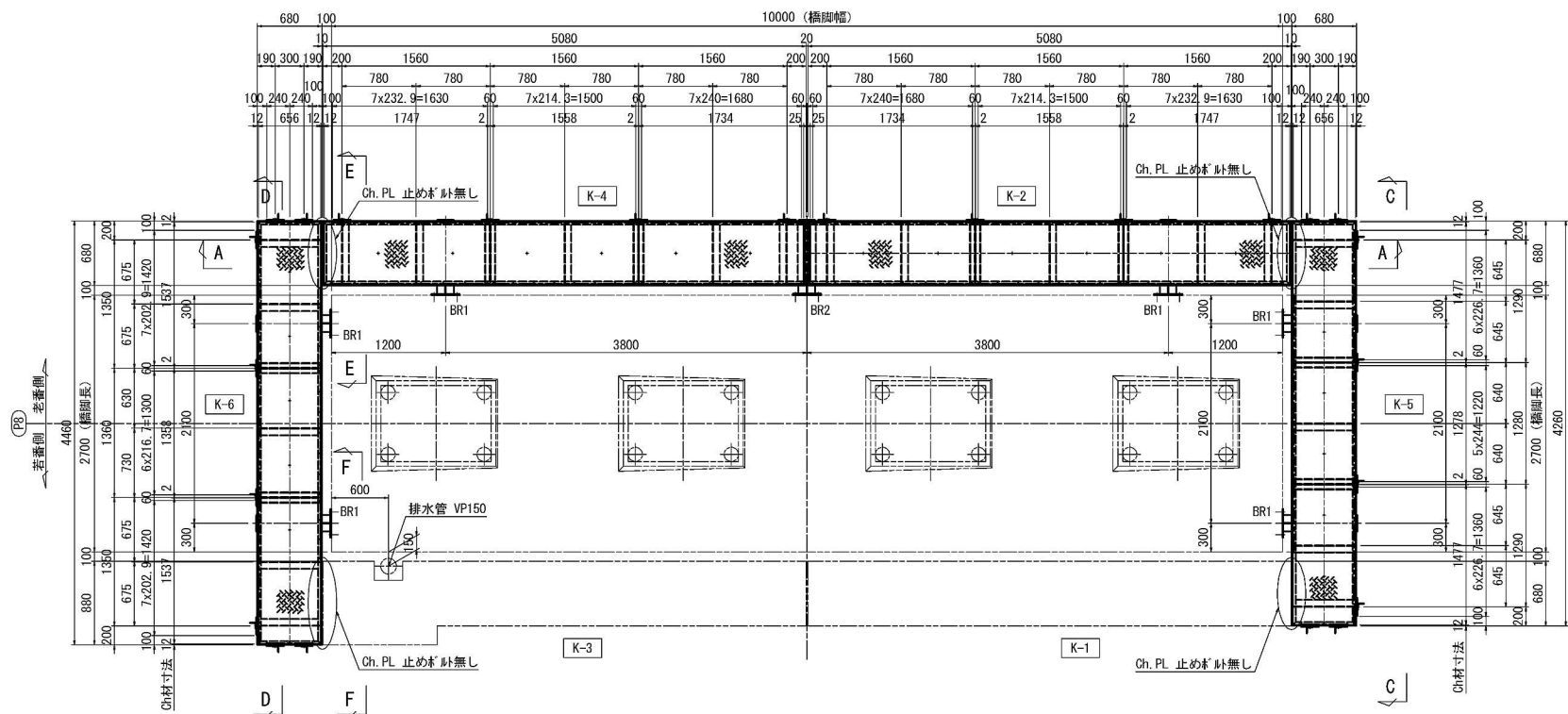
KA2 材料(製作数:1)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼び $\phi 32$ C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U. BOLT 呼び $\phi 15$ C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

KA5材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$
2 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A)
2 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A)
8 - BN M16 $\times 45$ (2-冊付)
2 - U. BOLT 呼び32C
4 - U. BOLT 呼び15C

平面图



KA6 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 656 x 3.2 x 1537 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1538 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 4460
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
45 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

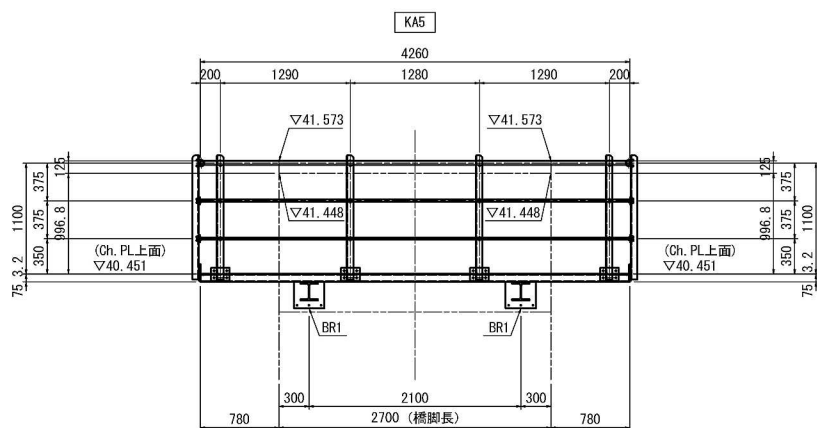
KA2, KA4 材料(製作数:各1)

- 1 - Ch PL 656 x 3.2 x 1734 (SS400相当品)
1 - Ch PL 656 x 3.2 x 1558 (SS400相当品)
1 - Ch PL 656 x 3.2 x 1747 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5080
1 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

KA5 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 656 x 3.2 x 1477 (SS400相当品)
1 - CH PL 656 x 3.2 x 1278 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 4260
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - L 75 x 75 x 6 x 670
40 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

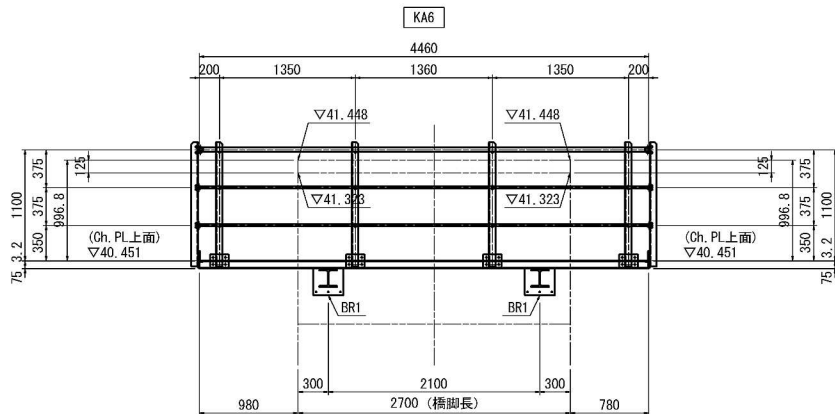
C - C



KA5 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4260$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4260$ (STK400)
4 - L 65 x 65 x 6 x 1233
4 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
4 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
16 - BN M16 x 45 (2-付)
4 - U. BOLT 呼び32C
8 - U. BOLT 呼び15C

D - D

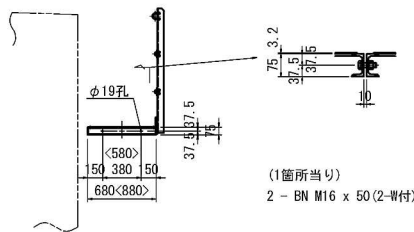


KA6 材料(製作数:1)

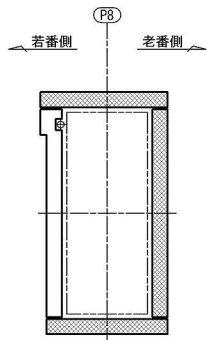
- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4460$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4460$ (STK400)
 4 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 4 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 4 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 16 - BN M16 x 45 (2-冊付)
 4 - U, BOLT 呼び32C
 8 - U, BOLT 呼び15C

$$E - E < F - F >$$

3<1>箇所



配置区

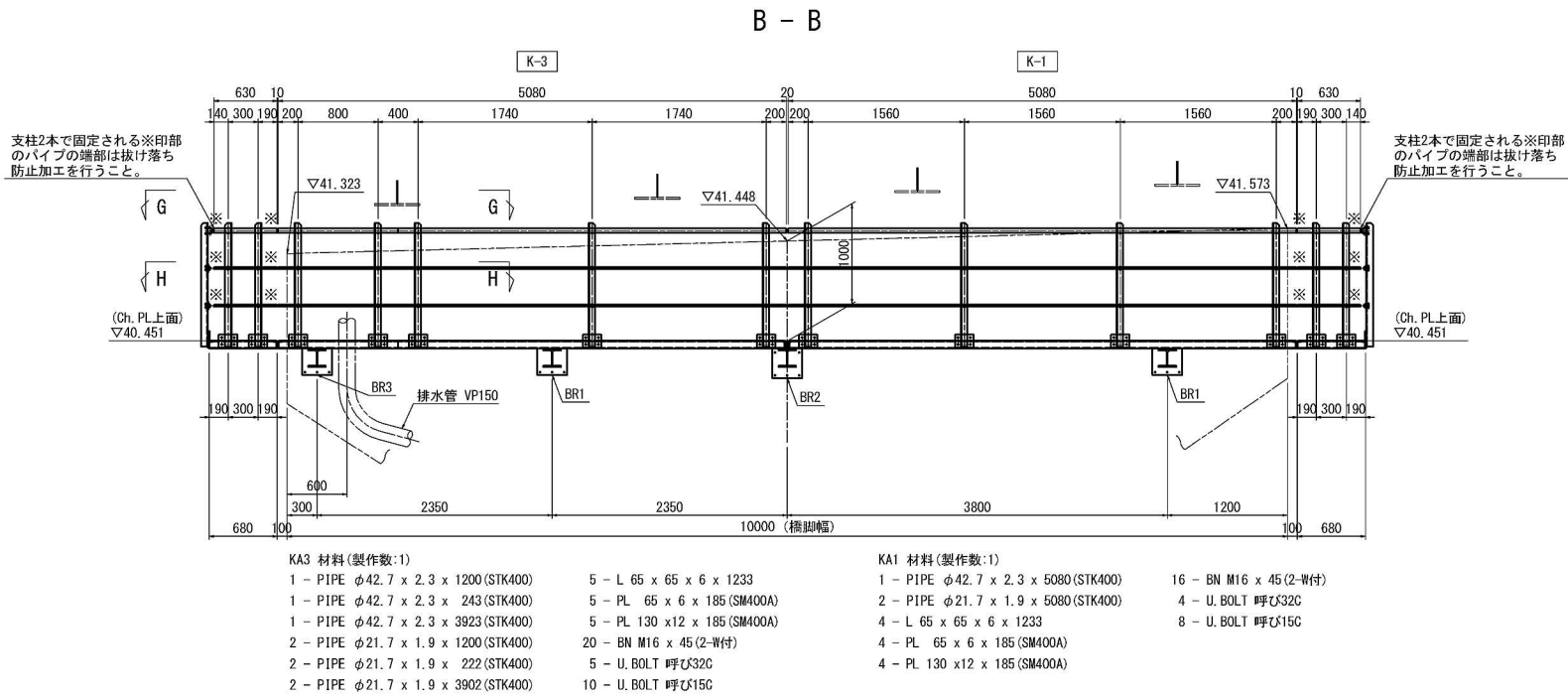


項 目	細別	單位	重量	摘要
檢查路	B(K)	Kg	2289.0	

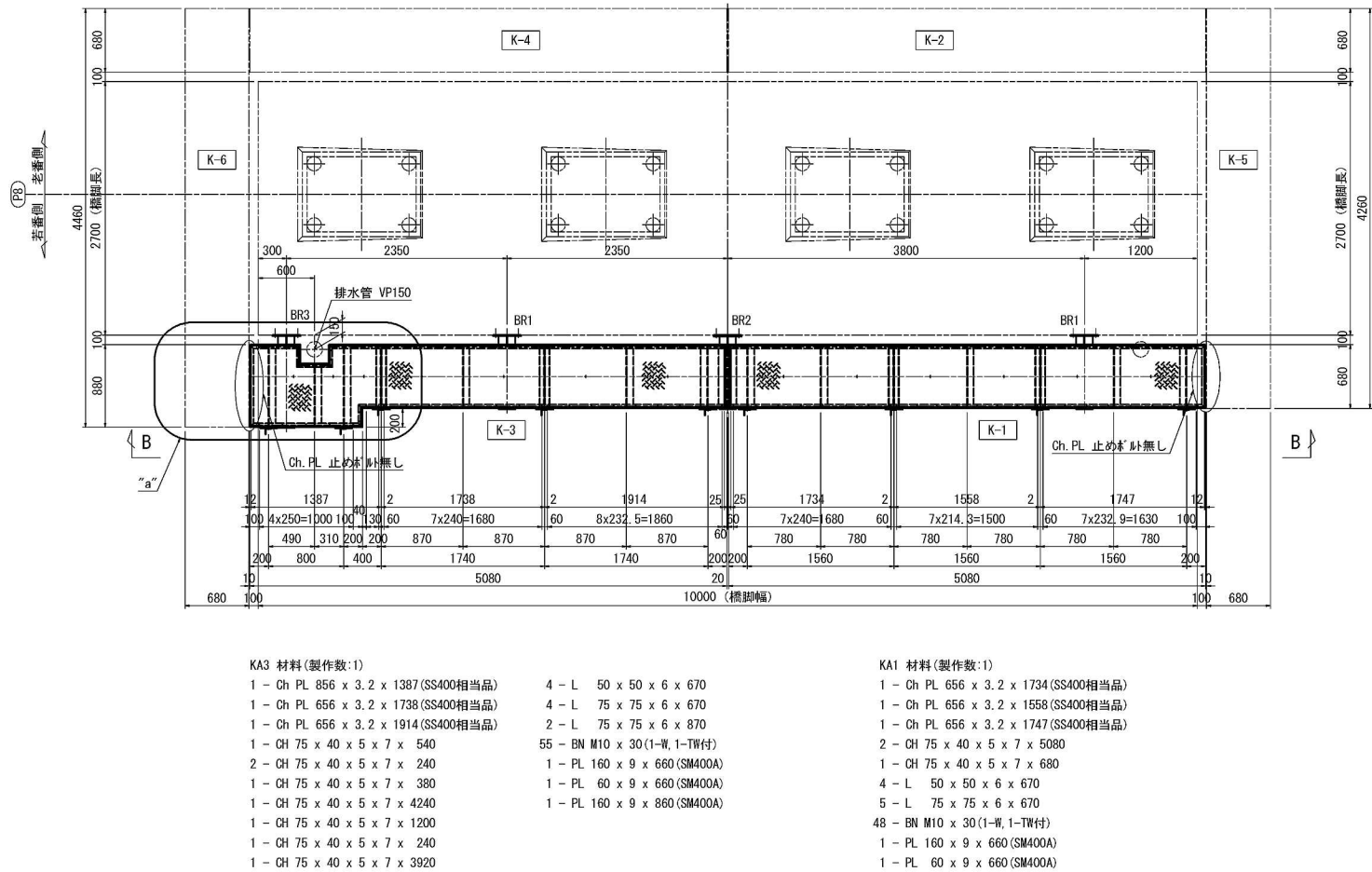
注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZ749 とする。但し鋼線板は除く。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mm を標準とする。

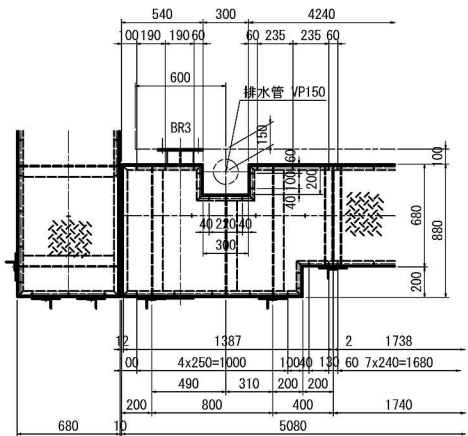
八 戸 自 動 車 道			
橋引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類		橋引馬淵川橋 下部工検査路図(その14)	
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		



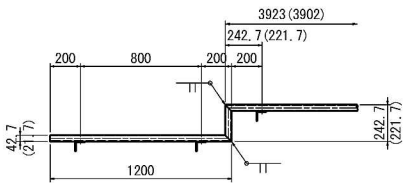
平面図



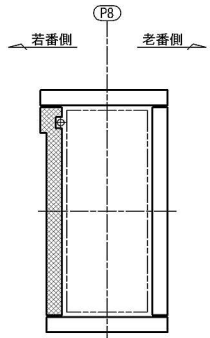
"a"部詳細図 S=1:50



G - G (H - H) S=1:50



配置図

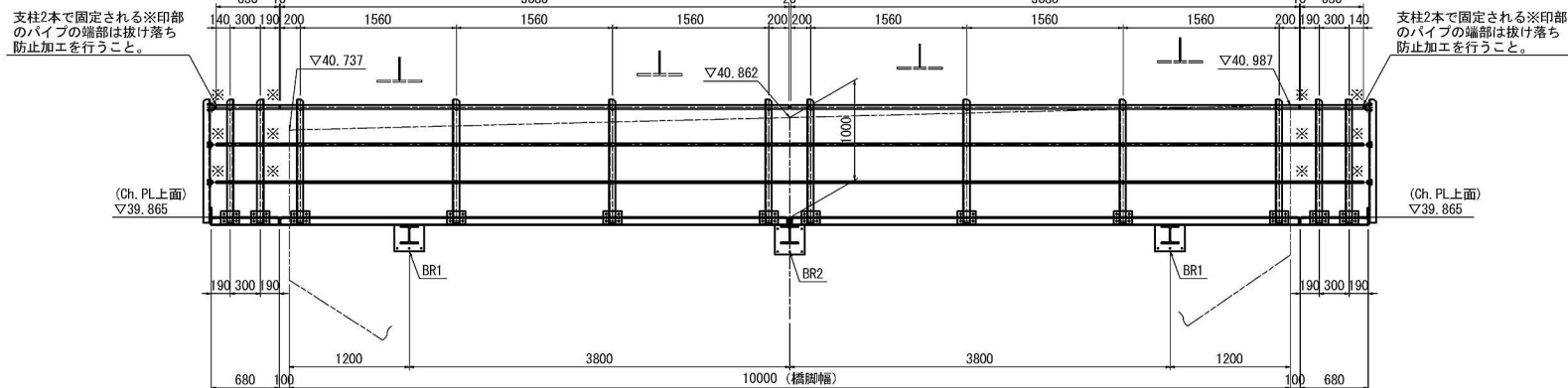


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し繰鋼板は除く。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その15)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

検査路B(K) (その1)

A - A



KA6材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
2 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
2 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
8 - BN M16 x 45 (2-冊付)
2 - U. BOLT 呼び32C
4 - U. BOLT 呼び15C

KA4 材料(製作数:1)

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-冊付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼びF32C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U. BOLT 呼びF15C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

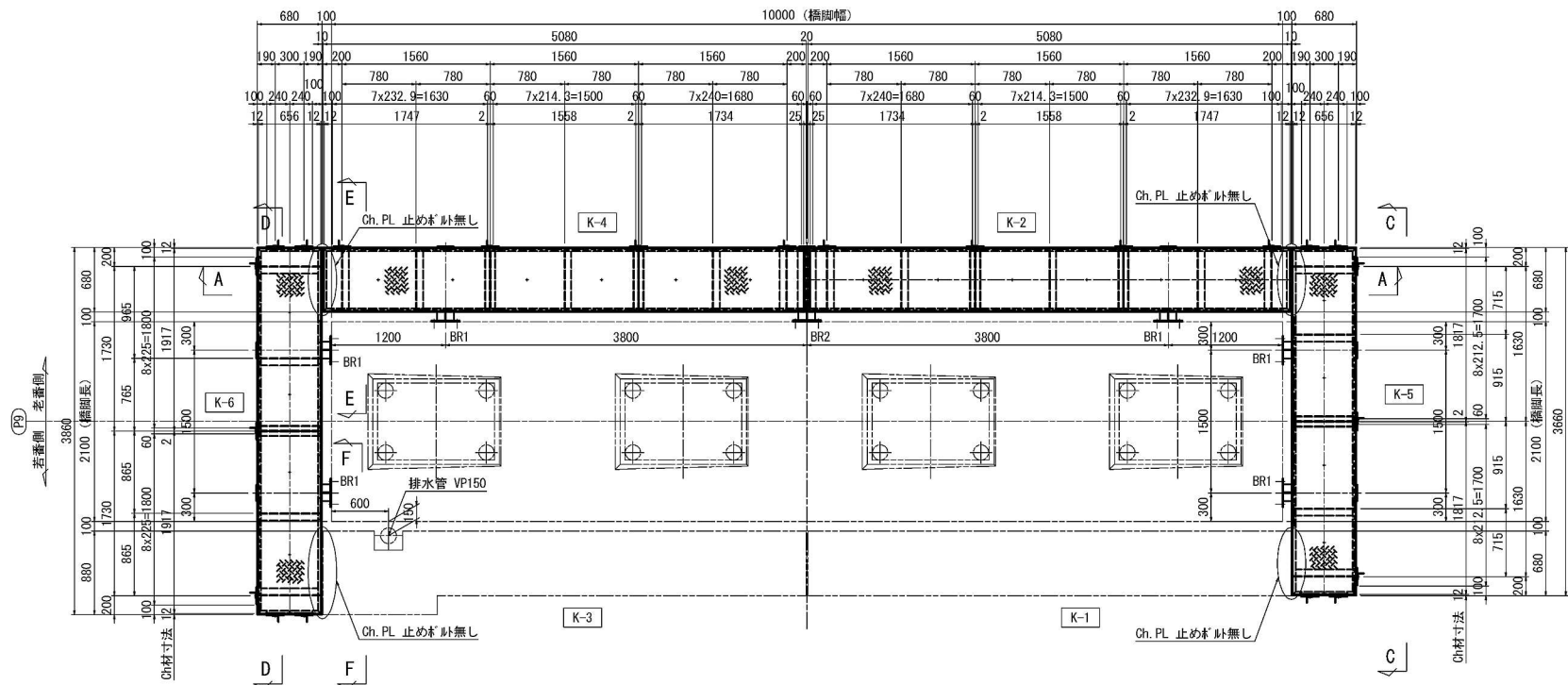
KA2 材料(製作数:1)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5080$ (STK400) | 16 - BN M16 $\times 45$ (2-付) |
| 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5080$ (STK400) | 4 - U. BOLT 呼び $\phi 32$ C |
| 4 - L 65 $\times 65 \times 6 \times 1233$ | 8 - U. BOLT 呼び $\phi 15$ C |
| 4 - PL 65 $\times 6 \times 185$ (SM400A) | |
| 4 - PL 130 $\times 12 \times 185$ (SM400A) | |

KA5材料(製作数:2)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2 - L 65 x 65 x 6 x 1233
2 - PL 65 x 6 x 185(SM400A)
2 - PL 130 x 12 x 185(SM400A)
8 - BN M16 x 45(2-冊付)
2 - U. BOLT 呼びJ32C
4 - U. BOLT 呼びJ15C

平面图



KA6 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 656 x 3.2 x 1917 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 3860
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
4 - L 75 x 75 x 6 x 670
35 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

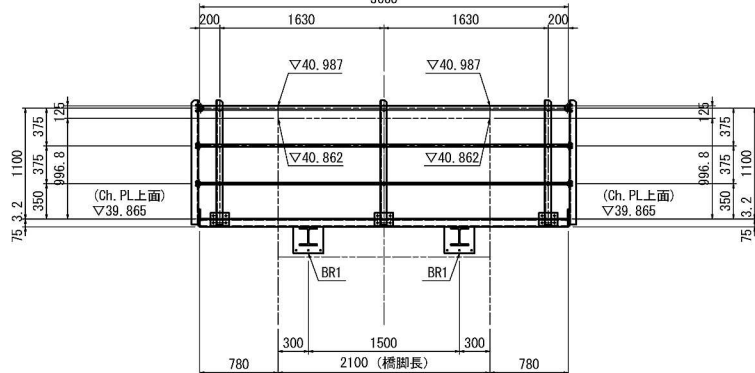
KA2, KA4 材料(製作数:各1)

- 1 - CH PL 656 x 3.2 x 1734 (SS400相当品)
 1 - CH PL 656 x 3.2 x 1558 (SS400相当品)
 1 - CH PL 656 x 3.2 x 1747 (SS400相当品)
 2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 5080
 1 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
 4 - L 50 x 50 x 6 x 670
 5 - L 75 x 75 x 6 x 670
 48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
 1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

KA5 材料(製作数:1)

- 2 - CH PL 856 x 3.2 x 1817 (SS400相当品)
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 3660
2 - CH 75 x 40 x 5 x 7 x 680
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
4 - L 75 x 75 x 6 x 670
36 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

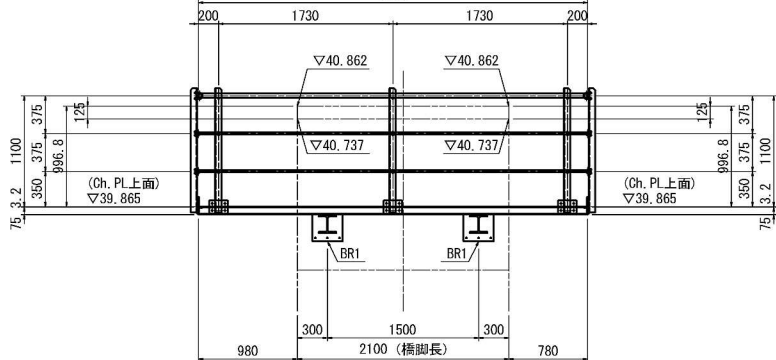
C - C



KA5 材料(製作数:1)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4260$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4260$ (STK400)
 3 - L $65 \times 65 \times 6 \times 1233$
 3 - PL $65 \times 6 \times 185$ (SM400A)
 3 - PL $130 \times 12 \times 185$ (SM400A)
 12 - BN M16 $\times 45$ (2-W付)
 3 - U. BOLT 呼び32C
 6 - U. BOLT 呼び15C

D - D

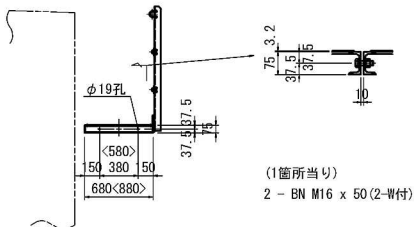


KA6 材料(製作数:1)

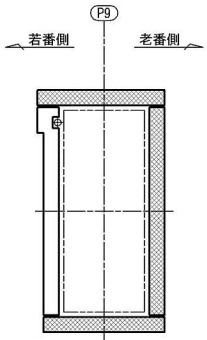
- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4460$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4460$ (STK400)
 3 - L 65 x 65 x 6 x 1233
 3 - PL 65 x 6 x 185 (SM400A)
 3 - PL 130 x 12 x 185 (SM400A)
 12 - BN M16 x 45 (2-W付)
 3 - U. BOLT 呼び32C
 6 - U. BOLT 呼び15C

$$E - E < F - F >$$

3<1>箇所



配置図



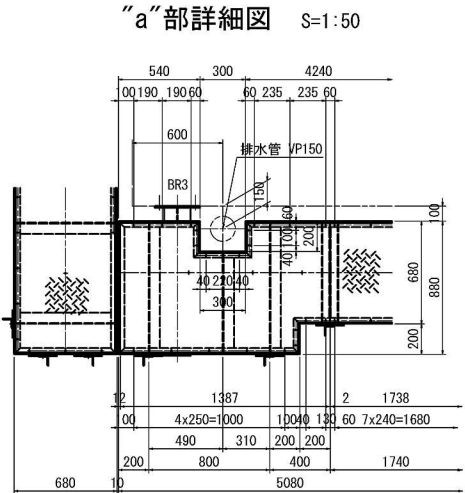
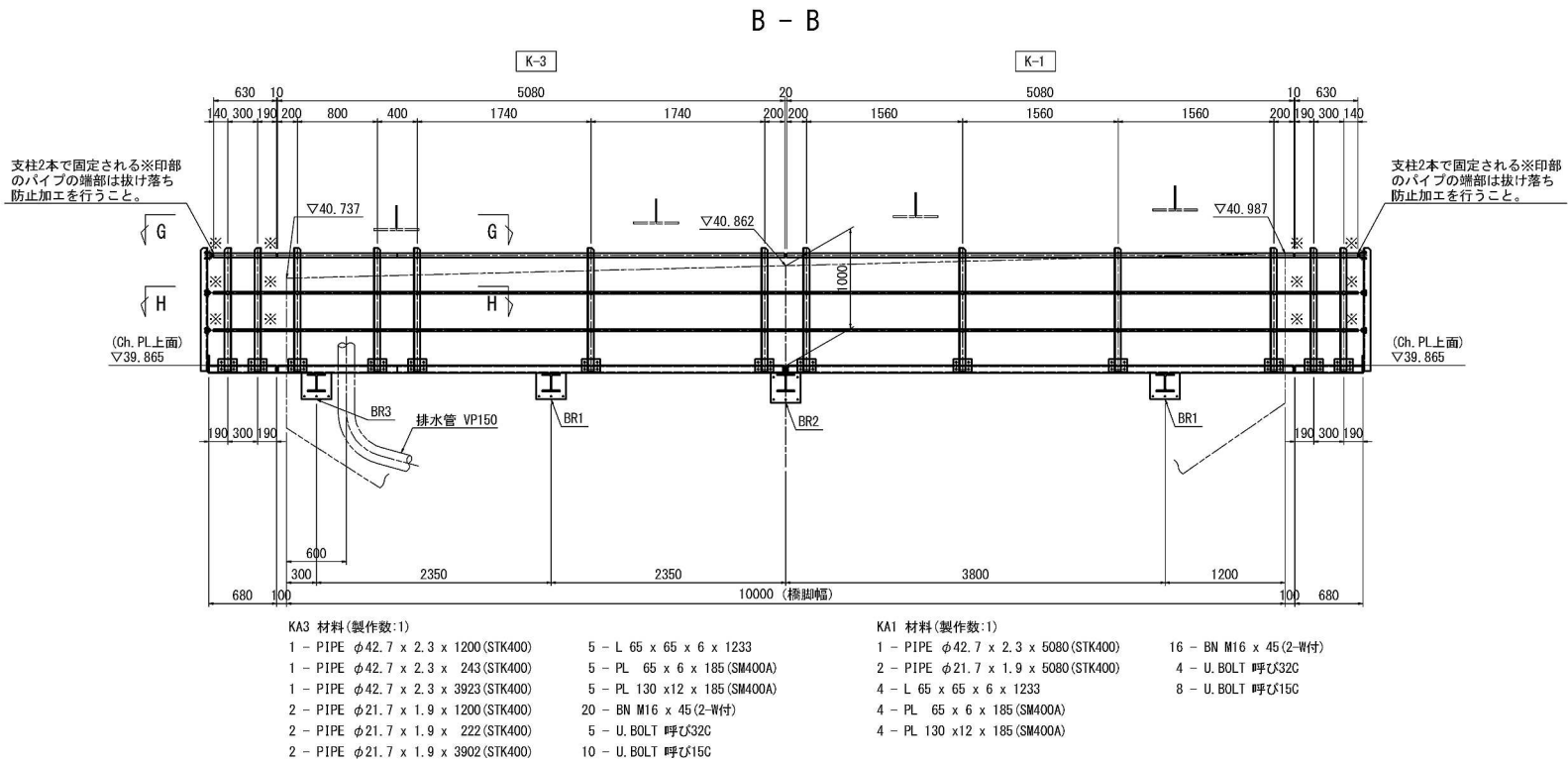
項 目	細別	単位	重量	摘要
検査路	B(K)	Kg	2204.0	

注記

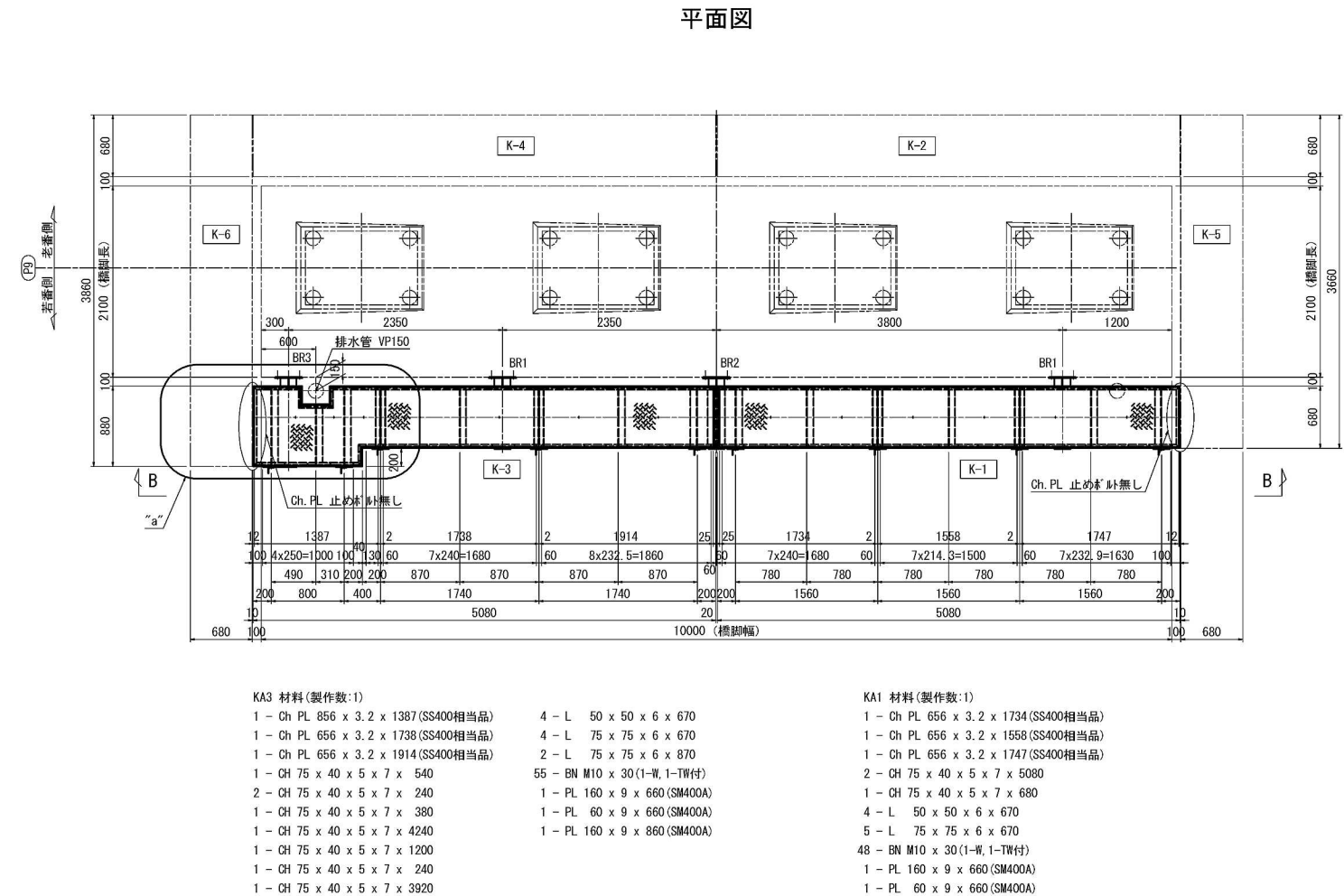
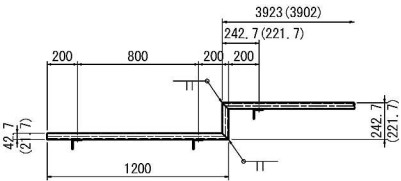
1. 特記なき材質は、全てS4400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印以外以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し線頭部は除く。
ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mm を標準とする。

八戸自動車道 棚引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	棚引馬淵川橋 下部工検査路図(その16)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

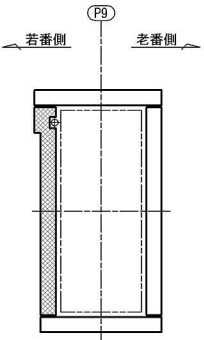
P9橋脚 検査路B(K) (その2)



G - G (H - H) S=1:50



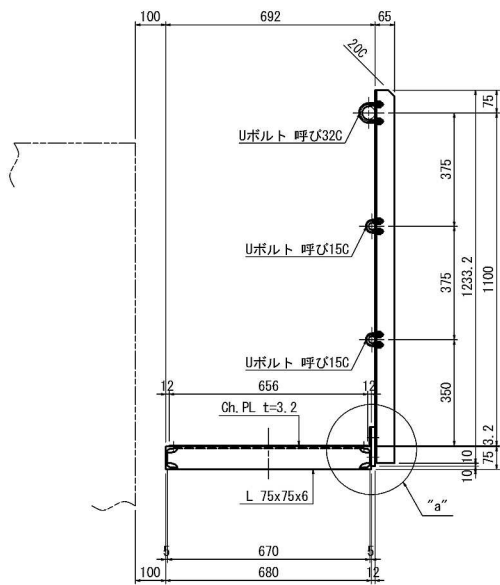
配置図



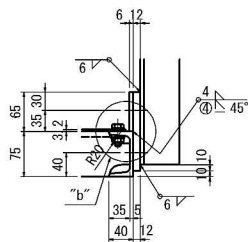
- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し鍍銀板は除く。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その17)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

標準断面図

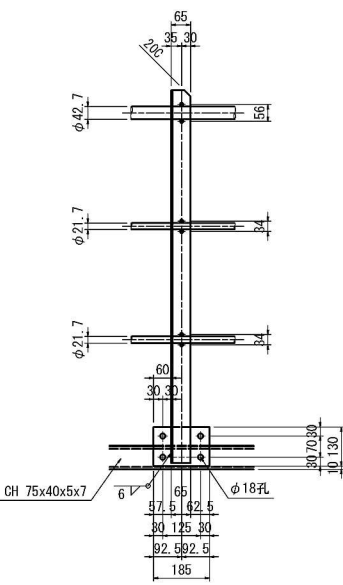
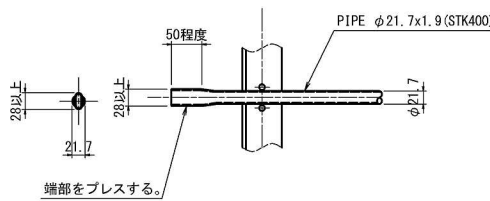
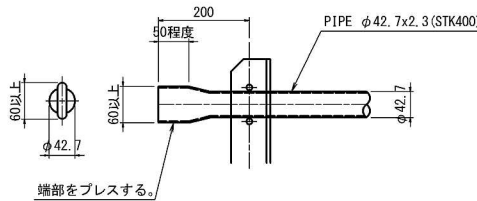


“a”部詳細 S=1:12.5

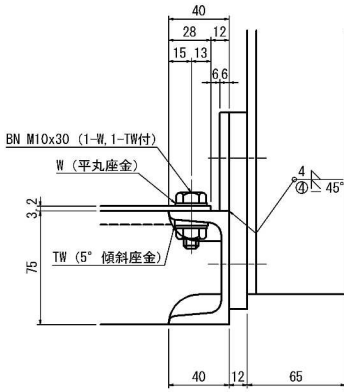


手摺抜け落ち防止詳細 S=1:12.5

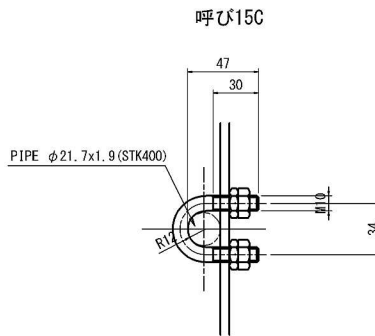
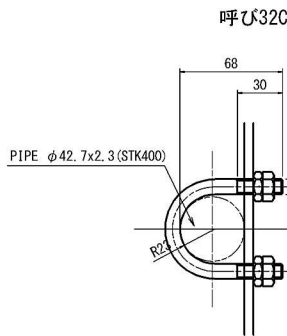
2本支柱の箇所
(※ 印部のみ加工)



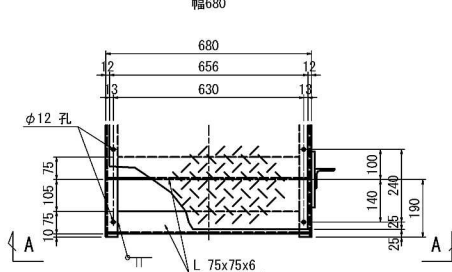
“b”部詳細 S=1:5



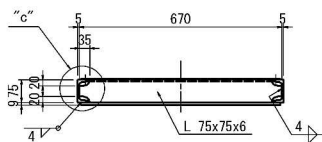
U. ボルト詳細 S=1:5



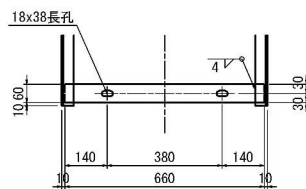
掛け違い部



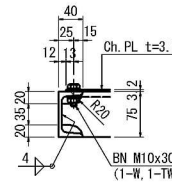
A - A



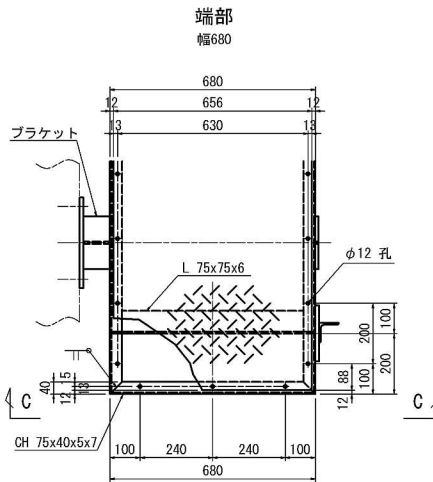
B - B



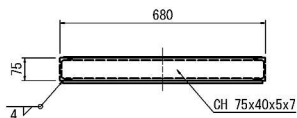
“c”部詳細 S=1:12.5



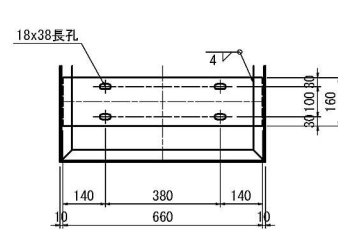
歩廊詳細



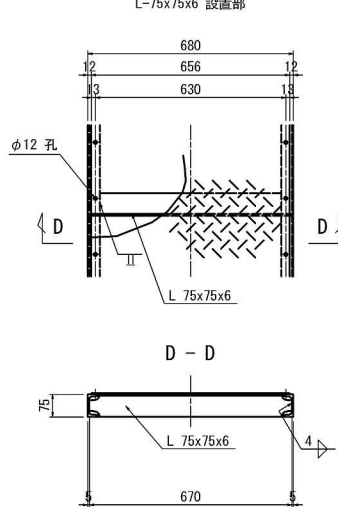
C - C



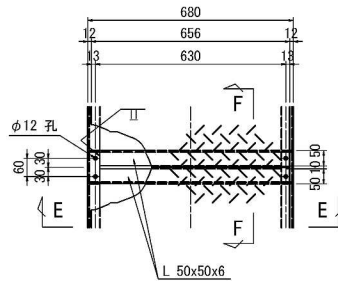
ブラケット 取付平面



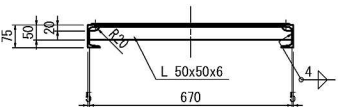
中間部



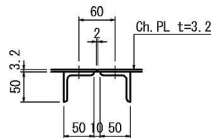
中間部詳細



E - E



F - F S=1:12.5



- 注記
- 特記なき材質は、全てS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ※印付以外の部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HD777とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は HDZT49 とする。但し鍍銀板は除く。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。

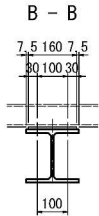
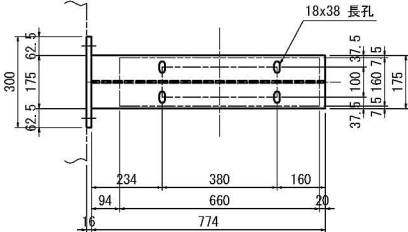
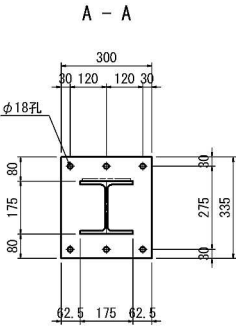
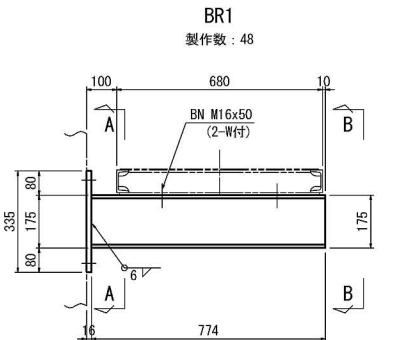
八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その18)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

検査路B (K) 各種詳細図(その2)
ブラケット詳細図

	製作数
P4橋脚	8
P5橋脚	8
P6橋脚	8
P7橋脚	8
P8橋脚	8
P9橋脚	8
合計	48

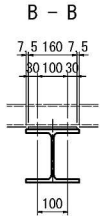
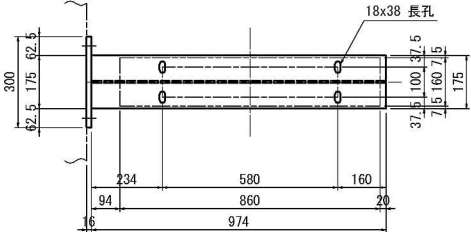
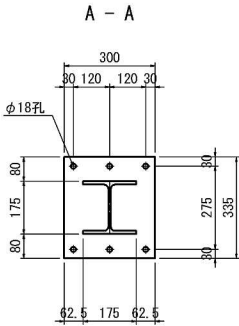
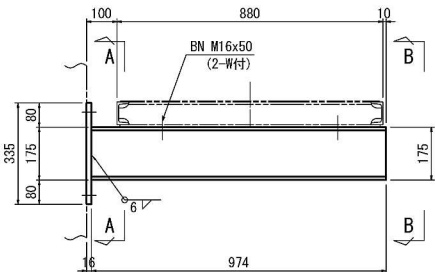
BR1 (1箇所当たり)

- 1 - H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 774
- 1 - BASE PL 300 x 16 x 335 (SM400A)
- 4 - BN M16 x 50 (2-W付)
- 6 - 打込式アンカー M16 x 125



BR3

製作数: 6



	製作数
P4橋脚	1
P5橋脚	1
P6橋脚	1
P7橋脚	1
P8橋脚	1
P9橋脚	1
合計	6

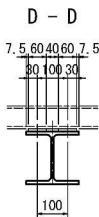
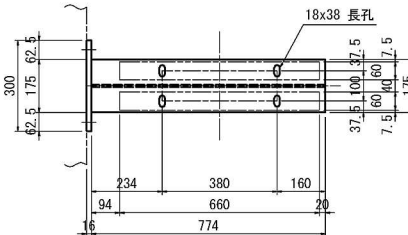
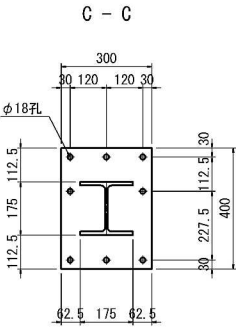
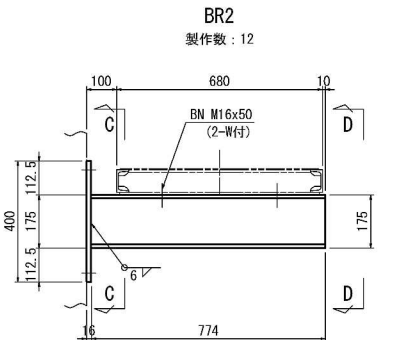
BR3 (1箇所当たり)

- 1 - H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 974
- 1 - BASE PL 300 x 16 x 335 (SM400A)
- 4 - BN M16 x 50 (2-W付)
- 6 - 打込式アンカー M16 x 125

	製作数
P4橋脚	2
P5橋脚	2
P6橋脚	2
P7橋脚	2
P8橋脚	2
P9橋脚	2
合計	12

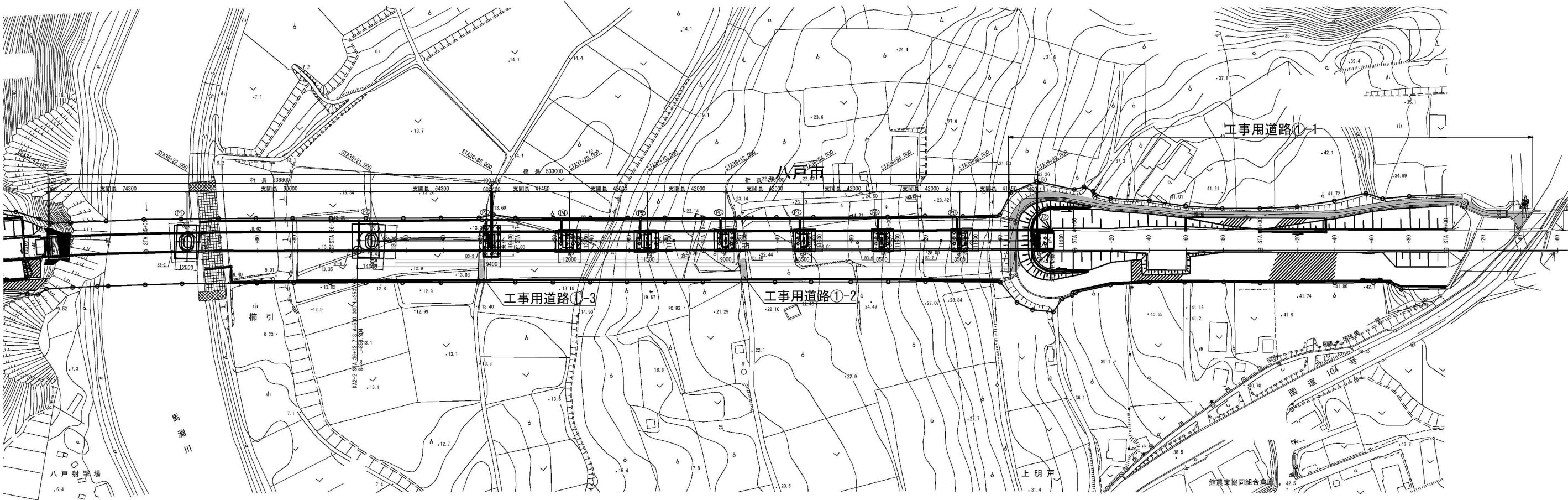
BR2 (1箇所当たり)

- 1 - H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 774
- 1 - BASE PL 300 x 16 x 400 (SM400A)
- 4 - BN M16 x 50 (2-W付)
- 8 - 打込式アンカー M16 x 125



八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図(その19)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

平面図 S=1:2250

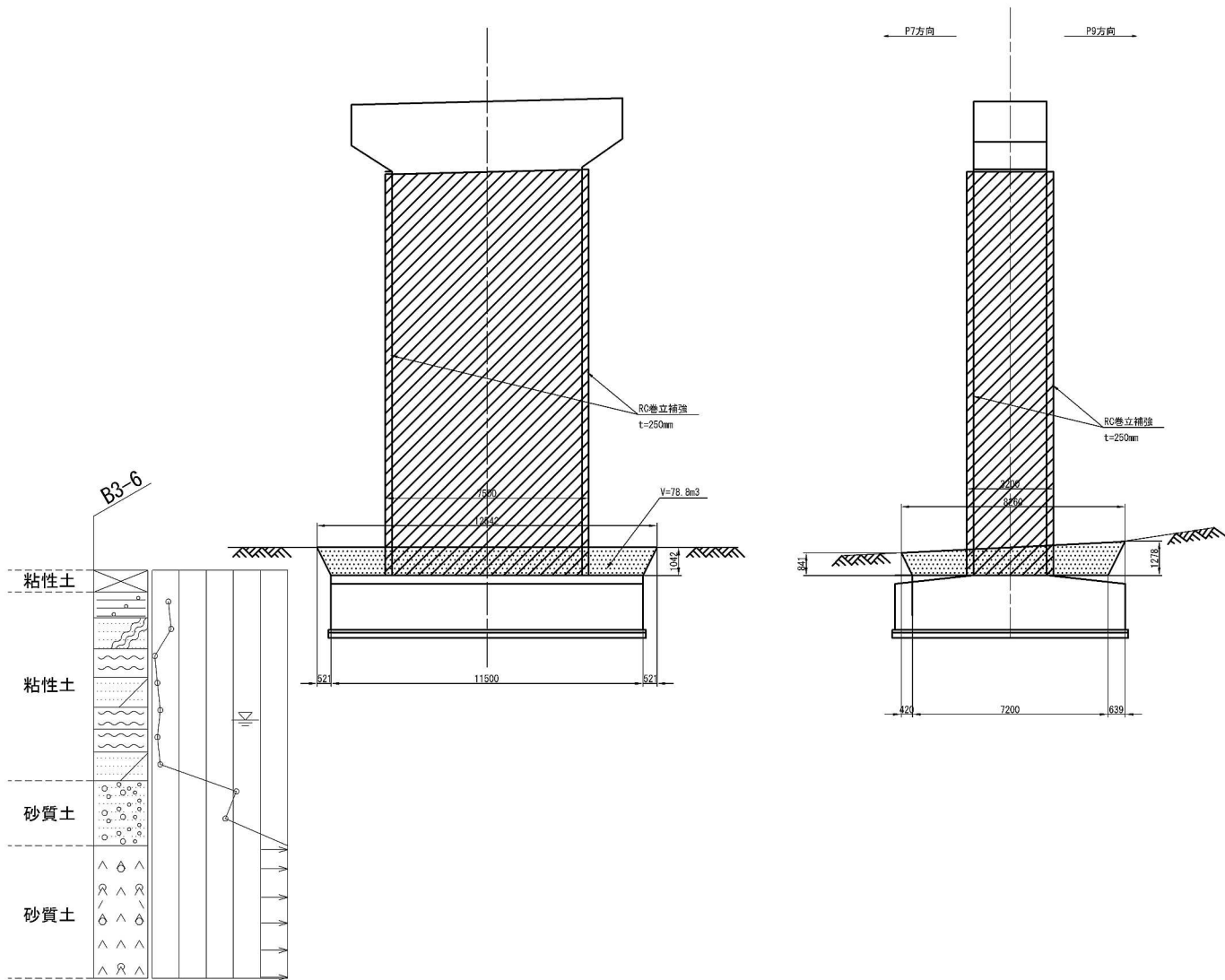


八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 工事用道路計画図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

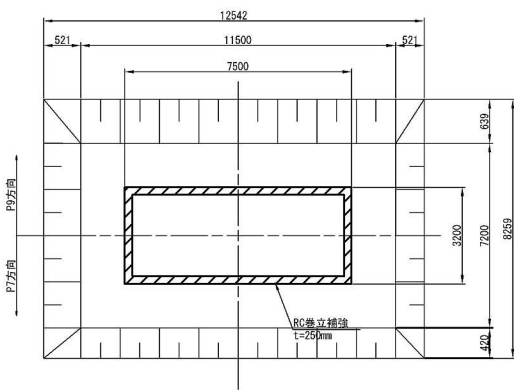
P8橋脚

正面図

側面図



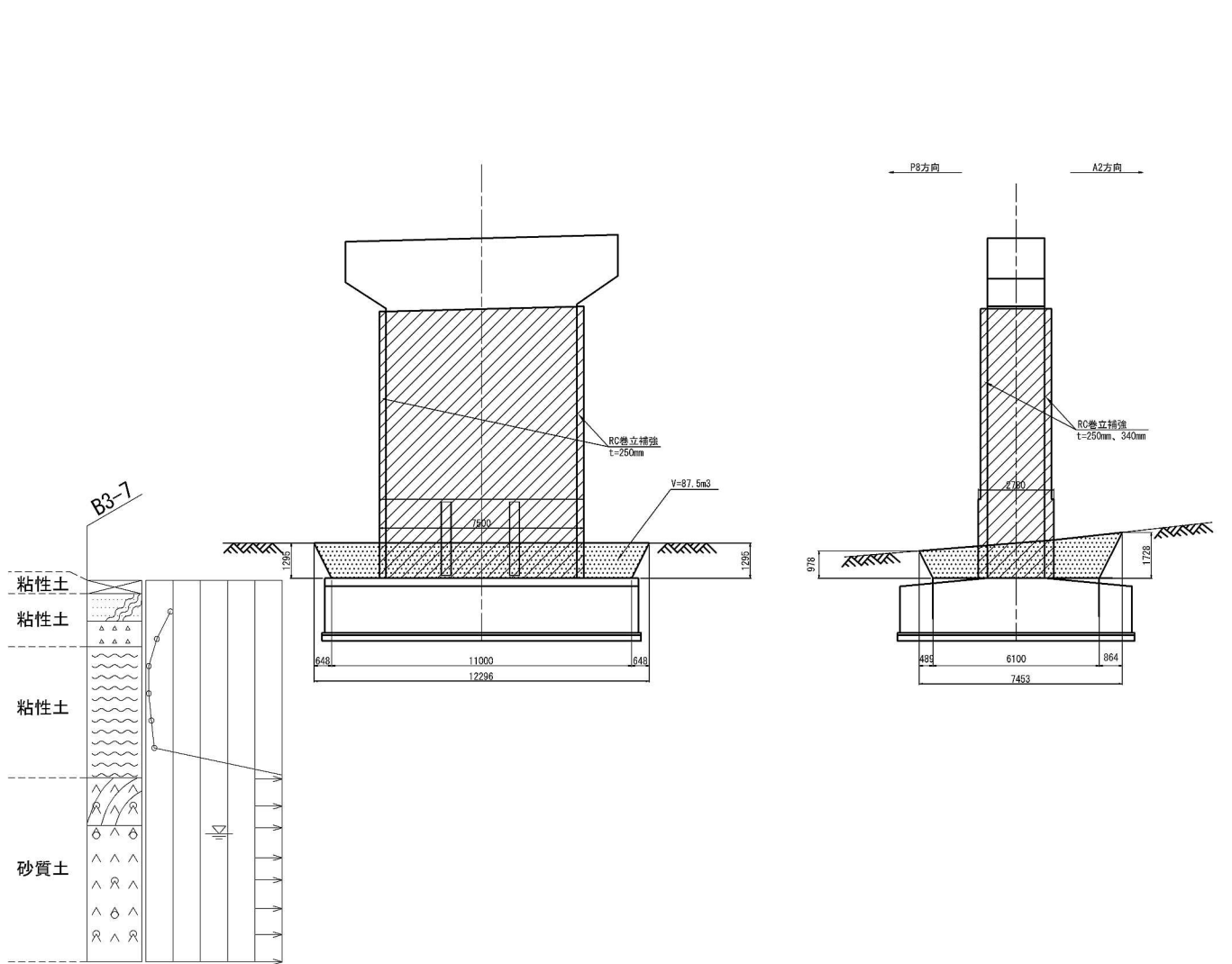
平面図



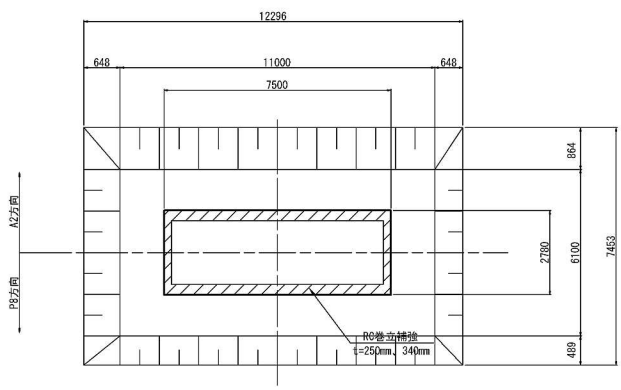
P9橋脚

正面図

側面図

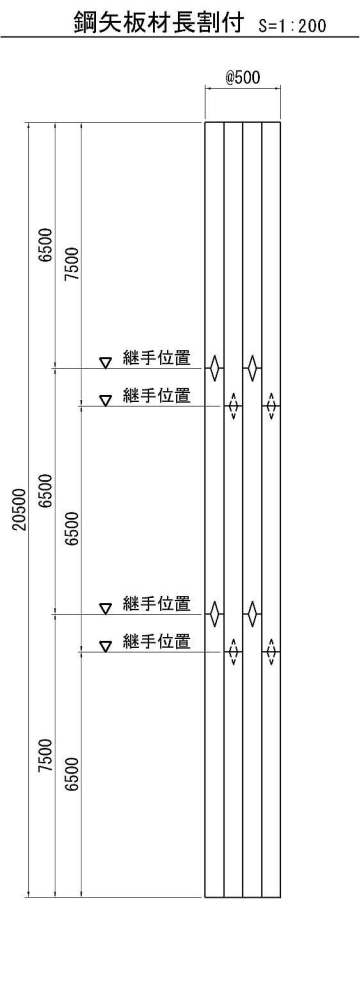
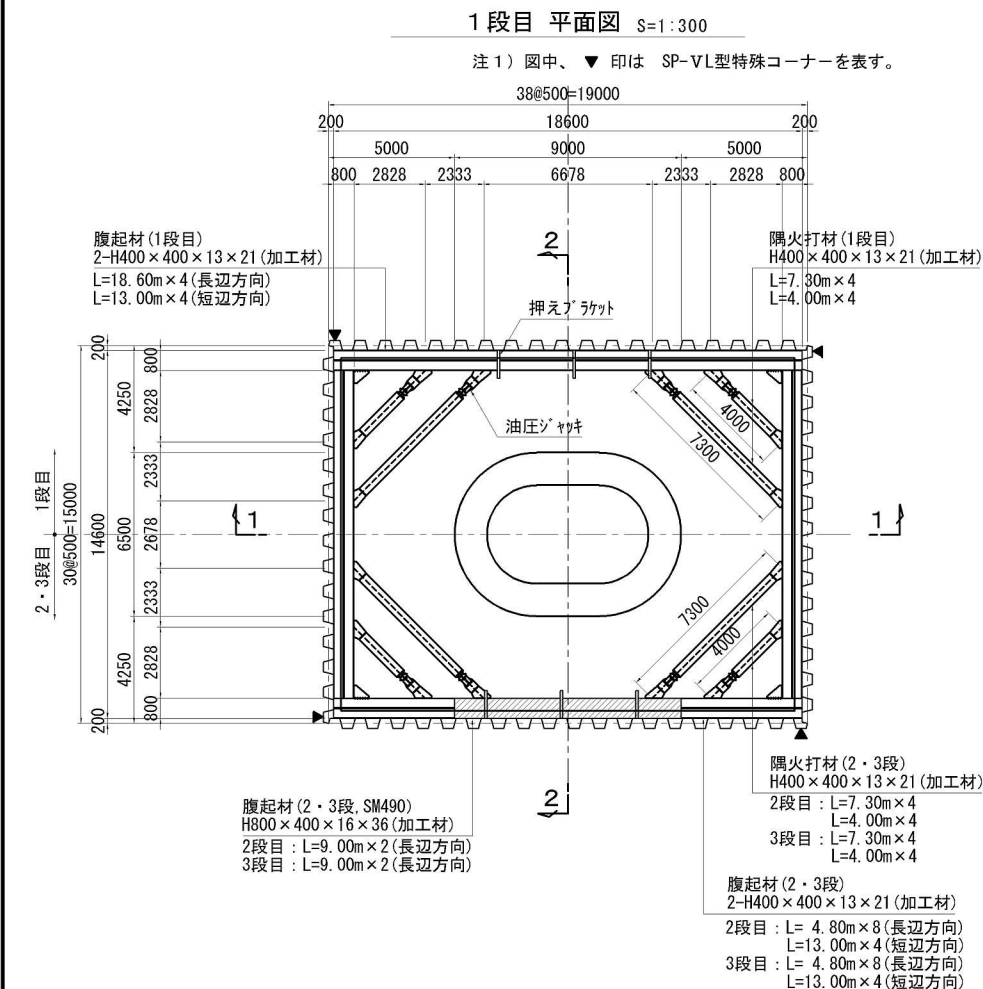
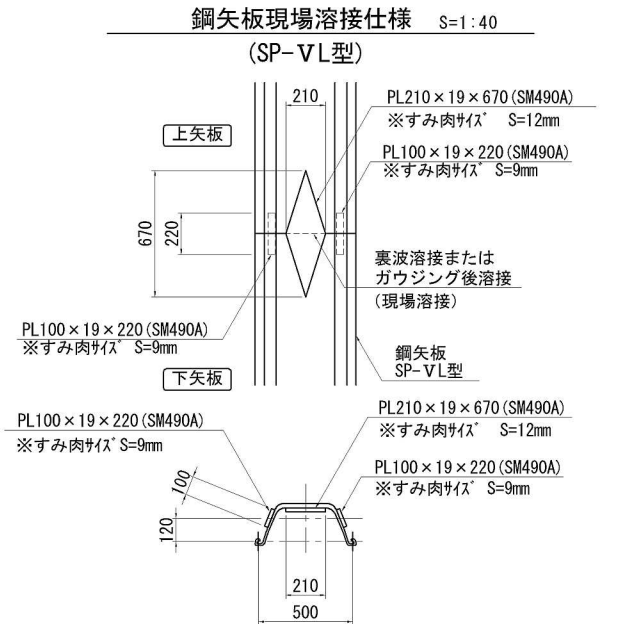
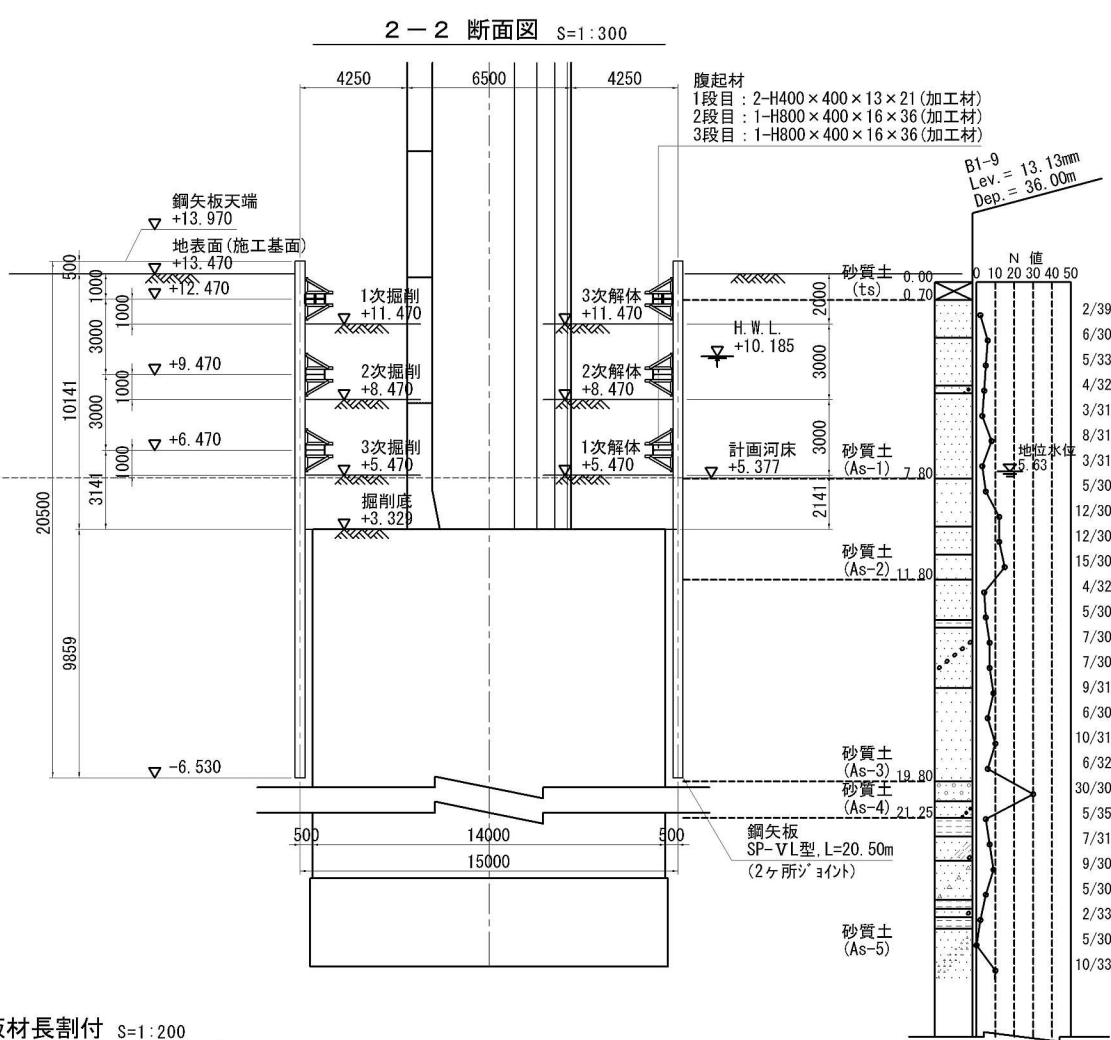
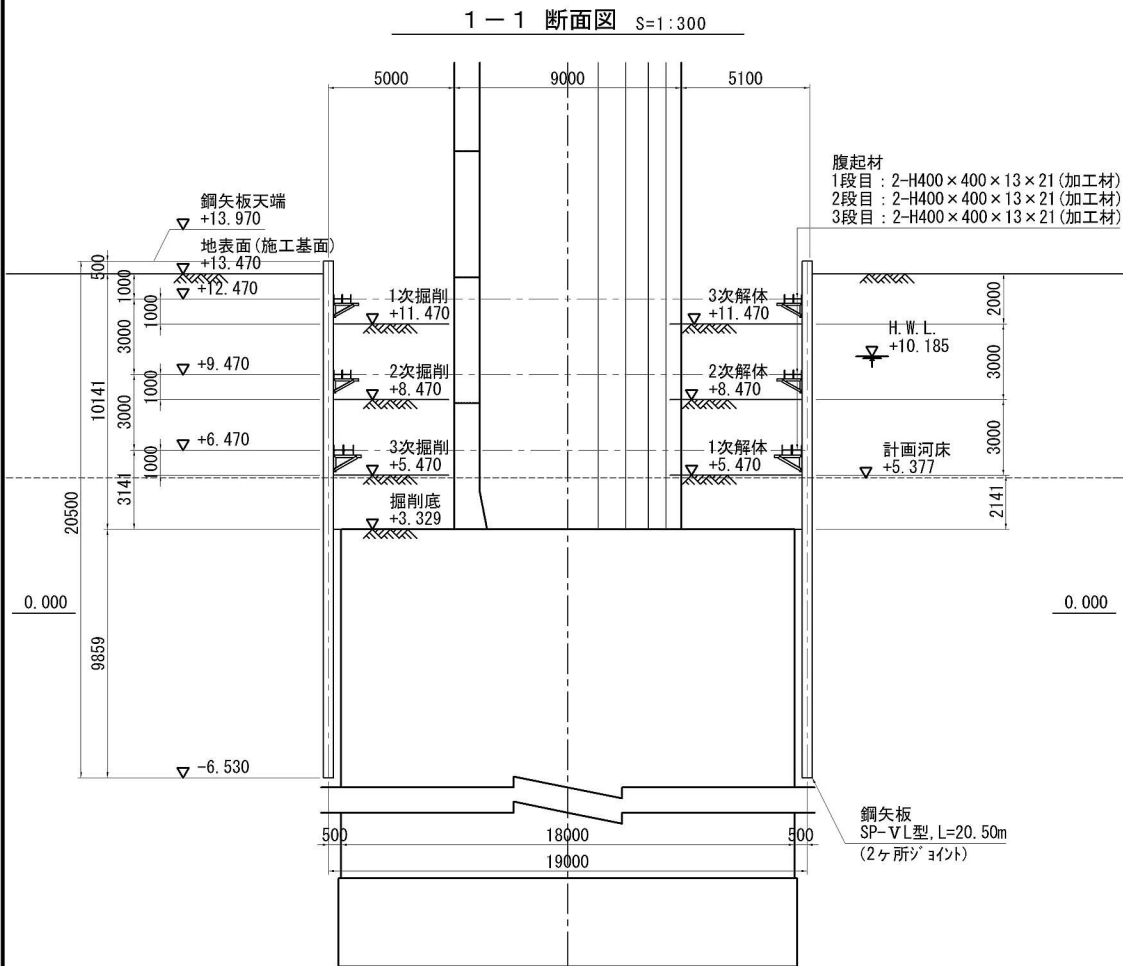


平面図

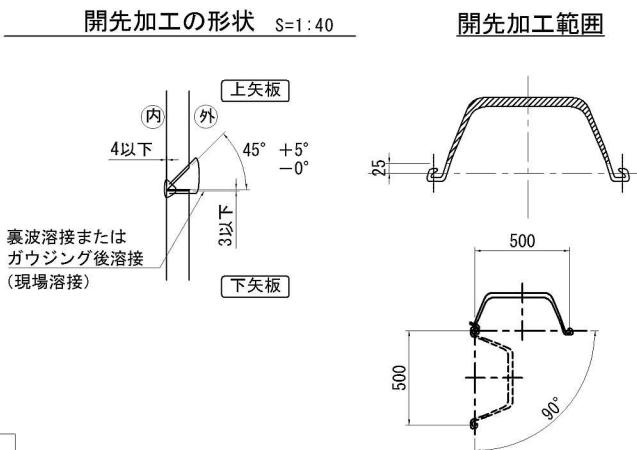


八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 施工計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

櫛引馬淵川橋 構造物掘削図(特殊部K)
P2橋脚仮締切工計画図



材 料 表									
名 称	種別	断面寸法 (mm)	長 さ (m)	数量	単位質量 (kg/m)	単品質量 (kg)	質 量 (kg)	適 用	
腹起材	H	H400×400×13×21 (加工材)	18.600	4	200.0	3,720.00	14,880	1段分(長辺方向)	
〃	H	〃	13.000	4	200.0	2,600.00	10,400	〃 (短辺方向)	
隅火打材	H	H400×400×13×21 (加工材)	5.800	4	200.0	1,160.00	4,640	〃	
〃	H	〃	2.500	4	200.0	500.00	2,000	〃	
腹起材	H	H400×400×13×21 (加工材)	13.000	8	200.0	2,600.00	20,800	2・3段分(短辺方向)	
〃	H	〃	4.800	16	200.0	960.00	15,360	〃 (長辺方向)	
〃	H	H800×400×16×36 (加工材)	9.000	4	-	2,987.00	11,948	〃 (長辺方向)	
隅火打材	H	H400×400×13×21 (加工材)	5.800	8	200.0	1,160.00	9,280	〃	
〃	H	〃	2.500	8	200.0	500.00	4,000	〃	
主部材 合計質量 =							93,308	kg	
※火打材長は、火打受へ長さとして0.50×2ヶ=1.0m、油圧ジャッキ長として0.50m×1台=0.50mを控除した長さ。									
※H800×400×16×36 (加工材) は、SM490材とする。									
主部材 合計質量							=	93,308	kg
副部材 (A) : 主部材合計質量×0.22							=	20,528	kg
副部材 (B) : 主部材合計質量×0.04							=	3,733	kg
支保工材 合計質量 ①							=	117,569	kg
油圧ジャッキ	-	H400用 (KOP-2040)	-	24	-	290.00	6,960	3段分	
油圧ジャッキ 合計質量 ② =							6,960	kg	
鋼矢板	SP	SP-VL型	20.500	132	105.0	2,152.50	284,130	2ヶ所ジョイント	
隅部矢板	SP	SP-VL型特殊コナ	20.500	4	112.0	2,296.00	9,184	〃	
杭材 合計質量 ③ =							293,314	kg	
添接板	PL	PL210×19×670		272		10.49	2,853		
〃	PL	PL100×19×220		544		3.28	1,784		
添接板 合計質量 ④ =							4,637	kg	
総合計質量 ①+②+③+④ =							422,480	kg	



吊上げ荷重 $F=Wc+Wp+ (Po/g) \cdot \alpha=21.7t$
・ Wc : クレーンフックの質量 (t)=0.34t
・ W : バイプロハンマの本体質量 (電動式「パイロハンマ90kw」)=6.6t
・ Wp : 杭の質量=1.15t
・ Po : バイプロハンマ起振力=531.7kN
・ g : 重力加速度=9.81m/sec²
・ α : 作業係数 (引抜き=0.25)

ラフテレーンクレーン70t吊能力表

作業半径	16.6m	23.5m	30.3m
6.0m	31.3	23.6	12.5
6.5m	29.0	22.1	12.5
7.0m	26.4	20.7	12.5

※櫛引馬淵川橋の仮締切工は、クローラクレーンの搬入が困難なため、ラフテレーンクレーン70t吊を使用する。

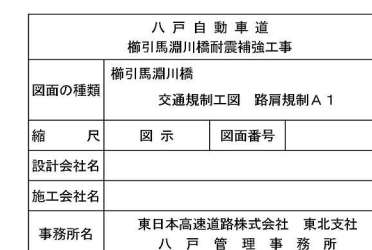
<注 記>

- 鋼矢板天端 : +13.970
- 設計地盤高 : +13.470 (=施工基面)
- 設計水位 : +10.185
- 上載荷重 : 10.00kN/m² 考慮する。
- 掘削時の余堀り : 支保工設置位置より1.00m下までとする。
- 解体位置 : 支保工設置位置より1.00m下まで埋戻しして十分締め固めた後、1段目を解体する。
- 埋戻し土 : 掘削側において、設計地盤から3.329mの範囲は埋戻し土とする。
- 油圧ジャッキ : 隅火打材端部には油圧ジャッキを入れゆるみをとること。
- 押えブラケット : 長辺側には押えブラケットを@≦3.00mに設置すること。
- 特殊コナ : 鋼矢板 SP-VL型特殊コナの形状は以下とする。
単位質量 $wd=142.84cm^2 \times 100cm \times 7.85 \times 10^{-3} = 112 \text{ kg/m}$

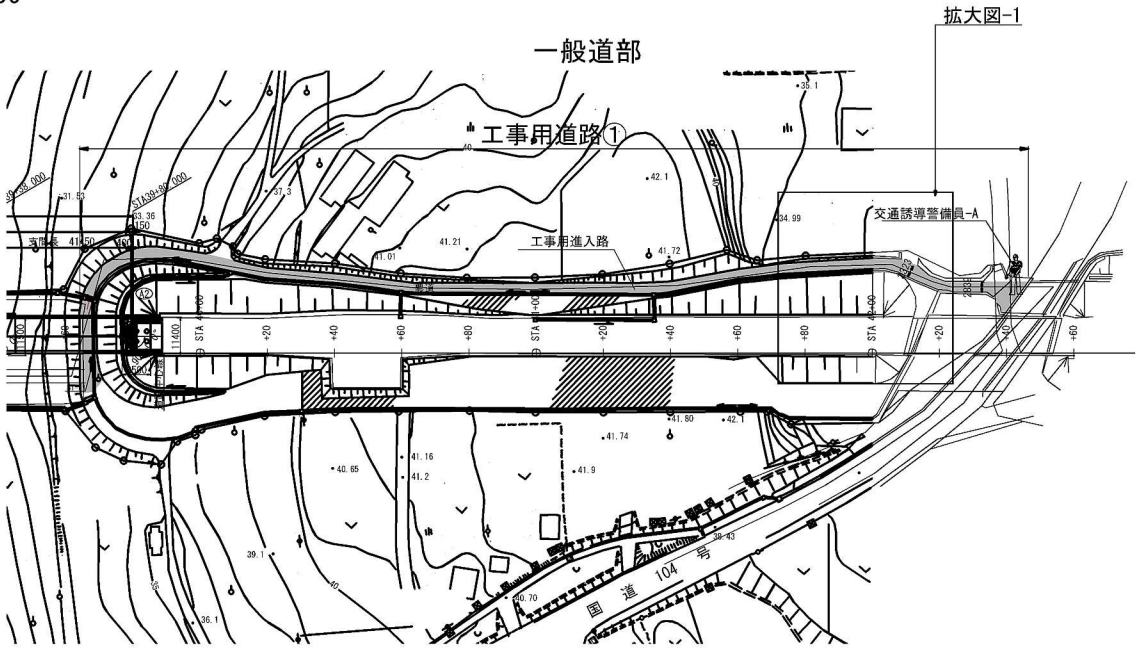
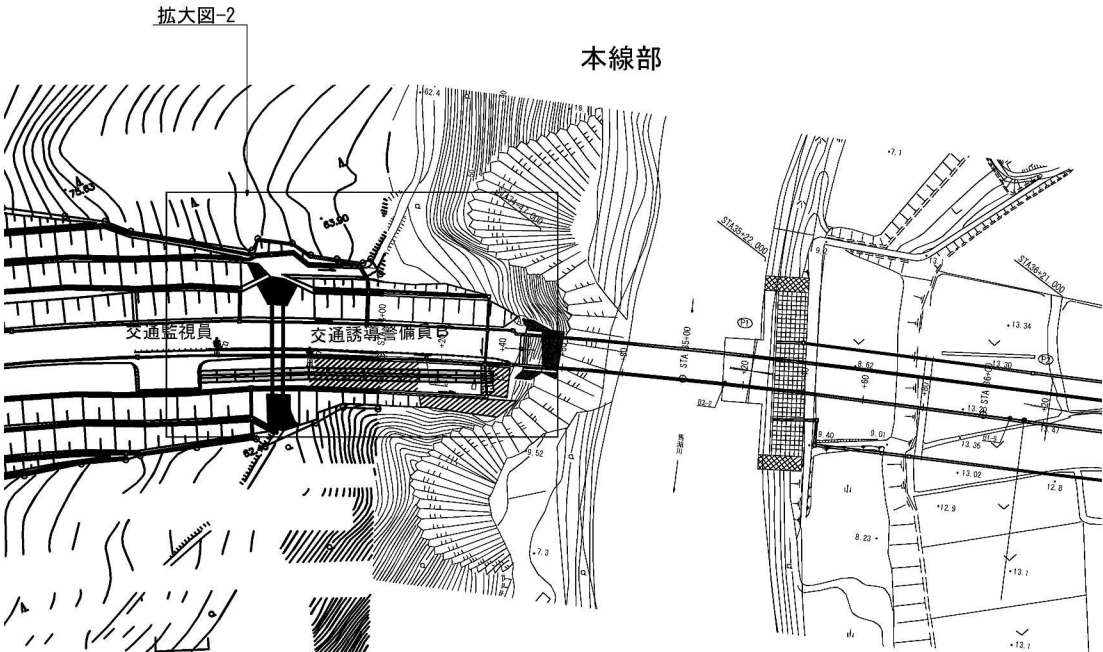
構造物掘削数量表

項目	単位	単位	適用
特殊部K	m3	2388.9	

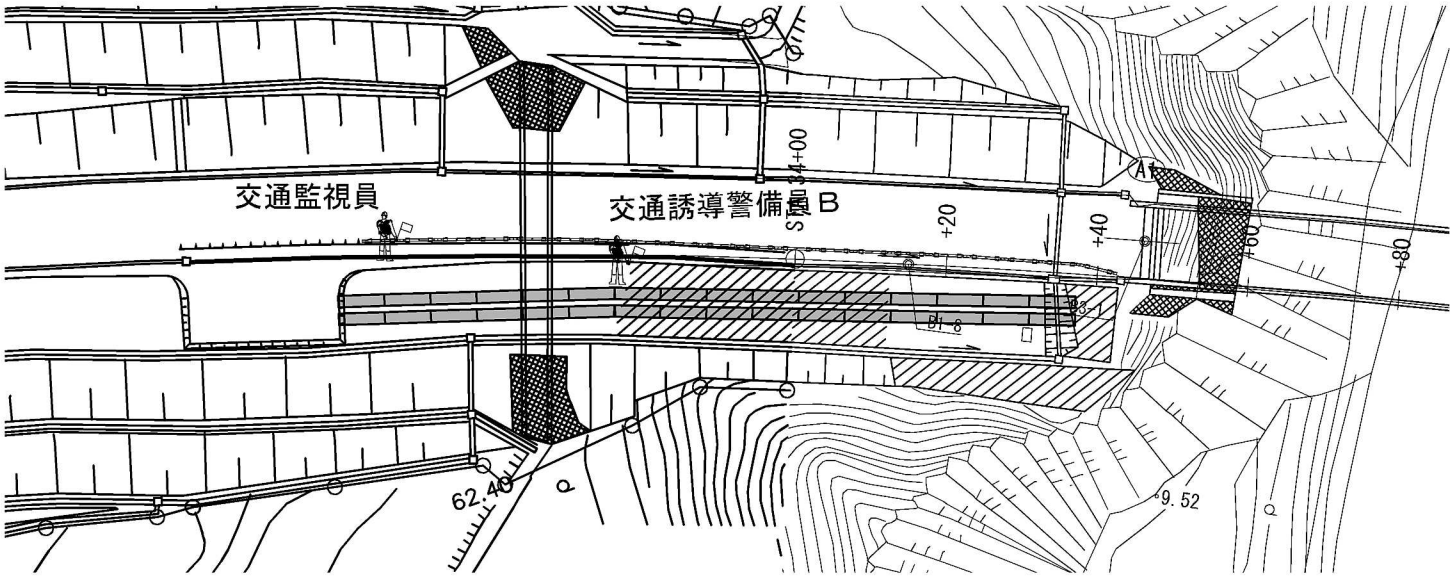
八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋	構造物掘削図(特殊部K)	
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社	八 戸 管 理 事 務 所	



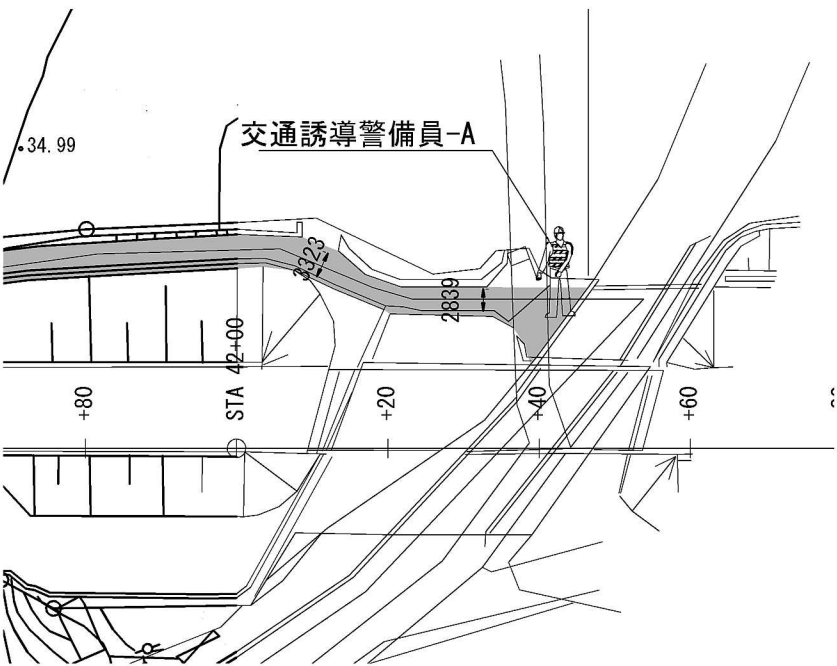
平面図 S=1:2,250



拡大図-2 S=1:1,000



拡大図-1S=1:1,000



本線部数量

名 称	配置人数(人)	延べ人数(人・日)
交通監視員	1	37
交通誘導警備員B	1	37

一般道部数量

名 称	配置人数(人)	延べ人数(人・日)
交通誘導警備員A	1	330

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 交通誘導員配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		